

追

補
さわやかな田園都市づくり

(二十一世紀をめざして)

幼稚園

矢吹幼稚園

昭和二十八年九月一日県内十七番目の公立幼稚園として矢吹小学校校舎の一部を利用して開園。
昭和四十四年十一月現在地に新築移転した。



三神幼稚園

昭和四十年四月一日矢吹幼稚園三神教室として、三神小学校の一部を利用して開園。
昭和四十七年四月一日独立。
昭和五十二年十一月十八日新築移転。
昭和五十九年四月三十日増築工事成済。



中畑幼稚園

昭和四十年四月一日矢吹幼稚園中畑教室として中畑中学校校舎の一部を利用して開園。
昭和四十五年八月一日中畑診療所を改造移転。
昭和五十四年十二月現在地に新築移転した。



中央幼稚園

町内の公立幼稚園は、矢吹・中畑・三神の三幼稚園であったが、入園希望者の増加により、昭和五十年四月に矢吹町立中央幼稚園が旧役場分庁舎（現「福祉会館」）を改築して三学級で開設。
昭和五十三年十一月二十五日現在地に新築移転した。



小学校・中学校

矢吹小学校



昭和44年4月13日、火災により11教室、幼稚園3教室等が焼失。

昭和44年12月8日、旧校舎の修理と鉄筋三階建新校舎が落成。

昭和57年3月10日増築工事が完成した。

善郷小学校



昭和53年矢吹第二小学校の建設委員会設置。2年数ヶ月をかけ、昭和56年善郷小学校として発足。

昭和56年4月2日開校式。

さらに昭和57年3月10日には増築工事が完成した。



三神小学校

昭和62年1月25日新校舎落成。

2月2日より新校舎での授業開始。



中畑小学校

昭和59年12月25日南校舎増築工事完成。
西白河郡初の多目的ホール設置。



矢吹中学校 昭和40年発足。昭和43年新校舎完成。
昭和59年11月、20周年記念式典を挙げる。

高等学校・県農業経営大学校・保育園

矢吹高等学校



昭和24年4月県立白河農業高等学校矢吹分校が矢吹中学校に間借りして開設。

当時は農業科・家政科と季節学級であった。

矢吹町を中心とし周辺町村民の念願により横街道に移転独立した。

昭和39年に家政科，昭和41年に農業科が全日制となる。

昭和46年に新校舎が落成，4月1日現在地に移転。

県立白河高等学校矢吹分校と変遷を重ねて昭和52年4月1日独立し，近代建築と設備を有する新校舎が完成した。

福島県農業経営大学校

昭和十年県立修練農場として発足。戦中戦後と幾多の変遷を重ね、昭和五十四年四月一日農業経営大学校となる。



にし保育園

昭和62年4月7日開園。



ひがし保育園

昭和54年4月1日新設開園。

集会・福祉施設



六区集会センター（右上）
昭和六十二年二月二十七日完成。
北側には東郷運動広場がある。
大林集会所（大町一六四の一）（上）
昭和四十八年三月二十日完成。
大久保集会所（右）
昭和五十七年十月三十日完成。
小池会館（右下）
昭和五十三年三月三十日完成。
三城目集落センター（下）
昭和五十六年二月二十六日完成。
右隣にはグラウンドがある。

矢吹町福祉会館
町立中央幼稚園が昭和五十三年十一月二十五日、一本木地内に新築移転したので、福祉会館として使用することになった。管理は矢吹町社会福祉協議会に委託、事務局をおいてある。
館内の大集会所にはステージ・マイクの設備もある。
中央公民館の補足的役割を果たすことも含め、町民全体の福祉の場所としての利用が期待される。

永い間社会の発展につくされたお年寄りの方々の憩の施設として昭和58年4月27日落成。

お風呂は太陽熱利用のソーラーシステムになっている。



センター利用申込みにより、マイクロバス「さわやか号」が送迎する。



老人福祉センターにあるゲートボール場
昭和58年9月30日完成。



老人福祉センターオープン
昭和58年5月10日

多目的研修会館
三神地区新農業構造改善事業の中で設置された多目的施設。
施設設備は各種会合・研修はもちろん、卓球・バレーボールなどのスポーツ活動にも利用できるよう機能的な配慮がされている。
公民館施設のなかった三神地域の各種活動に大きな役割をもっている。



多目的研修会館オープン
テープカット

昭和55年
4月15日
開館



総合グラウンドに切妻造りの相撲場が完成
昭和五十七年六月六日
土俵開き記念相撲大会が二〇〇人の
町民参加のもとに盛大に行なわれた。



ゲートボールを楽しむお年寄り

老人福祉センターにゲートボール場完成
昭和58年9月30日

各地区にゲートボール場が設置され、チーム数も70を数え、人口も1,200人以上となり、老人の意気盛である。



テニスコート完成
昭和60年10月31日

勤労者体育館隣に勤労者、婦人等の福祉増進及び雇用の安定確保を図ることを目的にしたテニスコートが完成。



勤労者体育センター（町民プール）完成
昭和53年6月24日落成式が行なわれた。



勤労者体育館

昭和60年2月28日完成
6,900㎡の敷地に6,500㎡の建設面積をもつ鉄骨平屋建。

家庭バレーボール2面、バスケットボール1面、バドミントン2面、卓球台4台がとれる広さをもっている。



表彰式（第6回大会）



第1回大会は昭和56年、秋晴れの10月25日、約105名が参加して行なわれた。この大会は町体育協会結成10周年記念事業として企画、健康と体力づくりを目的として町在住者、通勤・通学者を対象に実施されたものです。



チビッ子球児あこがれの白獅子旗授与



中畑スポーツ少年団、県下一となる
昭和61年8月3日、郡山市片平で開かれた第9回県下児童ソフトボール県大会に県南代表として出場し、決勝で須賀川市の大東スポ少を6対1で破り初優勝。
県内のスポ少350チームの頂点にたち、栄光の白獅子旗を手にした。

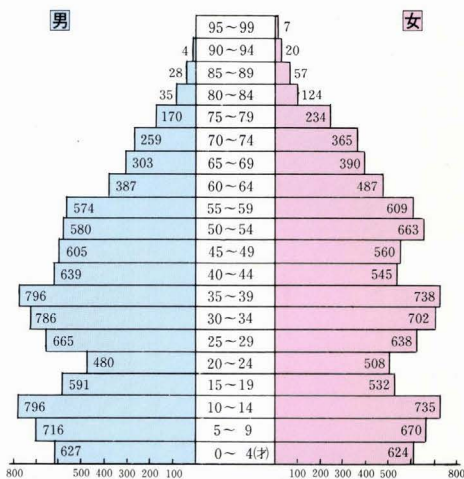


家庭バレーボール大会



中畑清の野球教室

人口構成（五歳階層別）



昭和六十年十月十日の国勢調査結果による人口
 男子 一八二四九人
 女子 九、〇四一人
 男子 九二〇八人
 昭和五十五年の国勢調査の人口は一七、五七八人、三・八％の伸びとなった。

成人病、ガン検診が無料化、早期発見・早期治療により、本町よりガンを追放しようというガン追放宣言の町の決議をした（昭和四十八年三月）。



成人病検診



血圧測定



婦人科検診

ことぶき大学本講座

ことぶき大学は昭和48年4月開校。350名が入校。生花・園芸・舞踊・詩吟など11分科会で活躍。

現在は400名を越えている。



「生涯教育と音楽」という演題で、講師の指導により楽しく歌う学級生



新装なった福島県立矢吹病院
昭和30年11月開院。
昭和59年7月6日改築工事完成。



雇用促進事業団矢吹宿舍完成
昭和54年8月10日入居開始。
この住宅には2DK40戸、
3DK40戸の計80戸が入居できる。



矢吹町商工会館
昭和10年6月、矢吹町商業組合として設立。
昭和56年4月から現在地に新築移転した。



白河警察署矢吹警察官派出所（昭和50年新築）



矢吹郵便局（上）
明治5年7月1日矢吹郵便取扱所として開業。
明治25年矢吹郵便局となり現在にいたる。
昭和60年3月24日新局舎落成。（本町地内）
三神郵便局（開局 昭和3年）（左上）
昭和51年6月14日新築（三城目15）
中畑郵便局（左）
昭和59年12月24日新築（中畑227）



公園の建設と整備

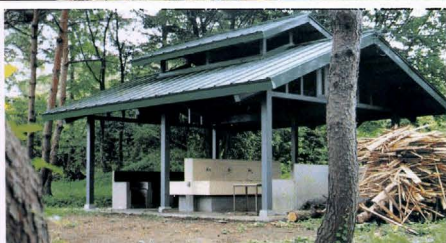
大池公園

町の中心より北へ一・五kmのところにあり、静かな水面とこれを取りまく赤松林がのどかな自然景観をみせている。公園の中心の大池は、昔あゆり沼と呼ばれており、あゆり川の源となっている。

かつては、みわたすかきりの松林に覆われていた原野で、池のほとりには往時の面影を見ることができ、公園の入口には、この矢吹カ原開拓をするす開拓の碑、宮内省御猟場時代を物語る雉子塚が残されている。公園内には野外催しもののできる自由の広場、照明付の球技場、テニスコート、キャンプ場、子供の広場、遊技施設などがあり、遊歩道も整備され、町民が自然に親しみながらコミュニティの輪をひろげていく憩いの場となっている。



野外炊飯施設



農民健康増進施設



松林の中の遊具施設



「ふくしま緑の百景」
選出記念碑

大池改修記念碑
公園入口にある

(昭和六十年六月一日完成)



夜間照明施設

昭和49年3月、矢吹町公園に指定。ここには2等三角点がある。(海拔312.3m)

三角点は、三角測量などによってその位置が決められた、地表の点。将来の各種測量に備えて永久的な基準点として設置しておくには石柱(標石)が用いられている。



三角点公園

町児童公園第1号として昭和51年1月25日完成。予算730万円、面積2,100㎡、ブランコ、砂場、ジャングルジム、すべり台、パーゴラ、ベンチなどが設置され、子供達が楽しく遊べるようになっている。



大林児童公園(中町地内)



新町公園(昭和53年12月28日完成)



小池児童公園(昭和54年11月14日完成)



小松児童公園(昭和52年2月1日完成)



ひまわり公園(昭和53年2月1日完成)



矢吹町史完結

昭和四十八年から町の歴史を集大成して後世に残そうと町史の編集事業を進め、昭和四十九年には「目で見る矢吹町史」が完成、次いで「矢吹町史」全四巻と所在目録全四集が完成。八年を要した大事業に一応の終止符をうつことになった。



出版祝賀式開催（昭和55年11月）



「広報やぶき」は昭和44年4月に発行され、昭和62年9月号で222号となった。



町勢要らん
左…62年，中…57年，右…54年発行



改訂版

初版

社会科副読本「わたしたちの町やぶき」改訂再版される。
（昭和六十二年三月三十一日発行）
小学校三、四年生の社会科学習の副読本として昭和五十八年に初版刊行されたが、発展し続ける町のようにに合わせ内容を改訂再版した。



町村合併30周年を記念して、昭和61年11月発行した「矢吹町30年の歩み」

矢吹町文化祭（あゆり祭）



民謡の発表



邦楽のつと



書道展



第2回音楽祭



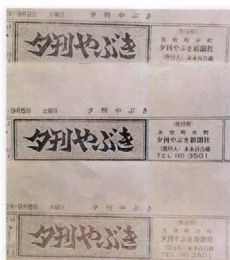
盆栽展



文学賞等受賞者作品（上）と受賞者（下）

・あんぎいのりこ（安斎典子）
昭和五十九年 第三十七回福島県文学賞詩の部奨励賞受賞
受賞作品「風花の村」
・大島ミトリ
昭和五十九年 第三十七回福島県文学賞詩の部奨励賞受賞
受賞作品「さくろ」
・阿部正栄
昭和六十年 第三十九回福島県文学賞詩の部文学賞受賞
受賞作品「辺境」
・江田恵美子
昭和六十一年 第三十九回福島県文学賞詩の部奨励賞受賞
受賞作品「紫蘇の花」

夕刊やぶきの発行
昭和五十二年発行
地域の文化・政治・経済など身近なニュースを提供、町民に親しまれ、第三八〇号を数える。





仲西藤次町長逝く

昭和57年8月30日、午後2時30分町長室で執務中に倒れ逝去。氏は昭和46年町長就任以来11年4ヵ月、昭和47年には矢吹町振興計画を策定。「さわやかな田園都市やぶき」の実現をめざし、調和のとれた地域の開発と発展のための町政執行に努力された。



矢吹ヶ原開発弥栄入植50周年記念式典開催

矢吹ヶ原の開拓は明治にはじまるが、昭和11年(1936)から入植者を募集。特に戦後は戦争の影響を受けた方々などの入植によって、現在の田園の町やぶきの基礎が築かれた。



8月14日の予定であったが雨で順延となった。

初の矢吹音頭踊り流し

(昭和五十三年八月十九日)



移動図書館「あかまつ号」運行

昭和57年6月より運行開始。

毎月3回11ヶ所を巡回、読書の普及に活躍している。



音の出る信号機設置

昭和58年5月17日「目の不自由な人のために」と音の出る信号機が役場入口の交差点に設置された。

これはラジオ福島が県民によびかけた「通らんせ基金」により贈呈されたもので県内9基の中の1基。



交通パトロール車購入

昭和59年7月、交通パトロール車が購入され、町民の交通事故防止のために活躍している。



東北新幹線開業（昭和57年6月23日）

開業当時は大宮までであったが、60年3月14日から待望の上野乗り入れになり、スピードもアップされた。

東北本線矢吹駅は明治20年7月16日開業、100年の歴史有し、J R 東日本旅客鉄道株式会社（昭和62年4月）として1日2,000人以上の乗降客がある。



地方主要道・矢吹～天栄線の万才橋（堰の上地内）が完成し、昭和60年4月19日に開通式が行なわれた。総額3億1,860万円。

この橋の完成により矢吹・大信間は集落を通らないで往来でき、交通事故防止に役立つものと期待される。



万才橋開通



地方主要道・郡山～矢吹線の柿之内橋（南町地内）が完成、昭和62年1月23日開通式が行なわれた。

この橋は隈戸川にかかっていた鮎度橋が老朽化のため県が総額2億2,968万円を投じて完成。道路も改良され歩道も設置された。



柿之内橋開通



幼年消防クラブ結成（昭和59年9月1日）
ひがし保育園では4、5才児35人による幼年消防クラブの結団式が行われた。
火遊びをしないよい子になるようにと、園児一人一人に真新しいハッピが手渡された。



東京やぶき会設立
当町出身者で、東京及びその近県在住の方80名が参加、昭和57年10月23日午後1時から設立総会が開かれ、会長には石原雅夫氏が選出された。



第7回県消防ポンプ操法競技
白河地方大会で第1回分団第7部（柿之内）が小型ポンプの部で準優勝。
（昭和60年8月25日）
第8回大会では第2分団第6部（鍋内）も準優勝した。（昭和61年8月10日）



三鷹市管弦楽団演奏会（昭和60年8月31日）
町村合併30周年を記念して姉妹都市である三鷹市から管弦楽団を招き、残暑厳しい8月31日、矢吹中学校体育館で、関係者多数の出席のもと、交流合同演奏会が開かれた。この演奏会には、世界的に名高いバイオリンの鳥根恵さんとトランペットの中島大臣さんが特別出演、みごとな曲を独奏された。



町村合併30周年記念式典は昭和60年11月3日善郷小学校体育館において举行された。

功労者の表彰、作文論文優秀作品表彰、三鷹市議会議長の音頭で町の躍進を祝って、万歳三唱が行なわれ式を閉じ、アトラクションとして三城目の三匹獅子舞平鉾踊が披露された。



町村合併30周年記念交通安全鼓笛隊パレードが昭和60年9月21日管内小学生300名が参加し実施された。

町村合併30周年記念式典

町をきれいに合言葉に昭和60年4月14日、全町一斉にクリーン作戦を展開。町長・助役・教育長も各地区を視察。



全町クリーン作戦



科学万博町民号

昭和60年6月30日、町長をはじめ町関係者、町民491名が参加し、朝6時3分矢吹駅を出発。台風6号の影響で雨が心配され大変だったが、会場内では6時間の見学時間を自由に現代科学の進歩を目で確かめた。

列車の中ではカラオケ大会、盆踊りなどを楽しみながら親睦をはかった。



第三十回赤ちゃんコンクール

昭和31年に第1回を実施、以来恒例となり、昭和60年5月15日の開催で第30回をむかえた。

町文化財



滝八幡⑩



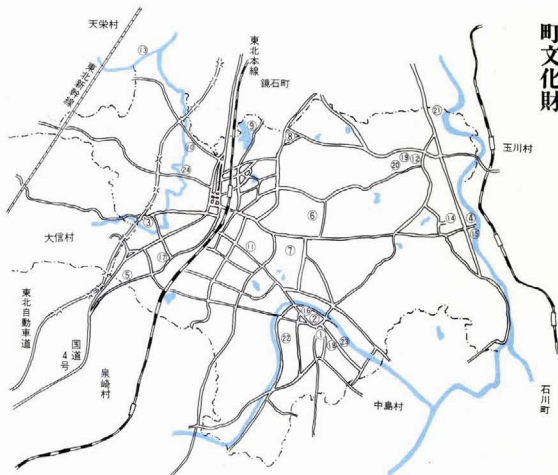
谷中古墳⑮



国神館跡⑳



常夜燈㉑



民俗芸能祭と天道念仏踊り

- ① 中畑陣屋の二本榎 (県指定)
- ② 澄江寺の大杉
- ③ 古山王の種蒔桜
- ④ 谷中の大榎
- ⑤ 五本松の松並木 (町指定) (自然環境保全地区)
- ⑥ 諏訪山 (保健保安林及防風保安林)
- ⑦ 恩賜林 (自然環境保全地区)
- ⑧ 三角点公園 (町公園)
- ⑨ 大池公園 (町公園)
- ⑩ 滝八幡 三十三観音磨崖仏群 (町指定)
- ⑪ 常夜燈
- ⑫ 景政寺
- ⑬ 長徳寺・本尊薬師如来木仏座像
- ⑭ 鬼穴古墳群 (県指定)
- ⑮ 谷中古墳群 (町指定)
- ⑯ 下荒具古墳群 (町指定)
- ⑰ 大和久の天道念仏踊り (町指定)
- ⑱ 原宿の熊野講 (餅つき歌) (町指定)
- ⑲ 三城目の獅子舞い平鉄踊り (町指定)
- ⑳ タカナン館跡
- ㉑ 陣が岡館跡
- ㉒ 観音山館跡
- ㉓ 国神館跡 (町指定)
- ㉔ 袖ヶ館跡

民俗芸能祭

昭和五十年に矢吹町が県から「文芸のふるさと」指定を受けたのをきっかけに、文芸と共に民俗芸能の掘りおこしが始まり昭和五十四年には二十数年ぶりに大和久の天道念仏が復活、続いて根宿の会津万歳、ごんたん踊りとつぎつぎに掘りおこしが進み、その数が三十余にも及んだ。町教育委員会の「民俗芸能掘りおこし伝承」の成果発表として、昭和五十四年十一月第一回「民俗芸能祭」が開催、以来毎年実施され町民の関心を深めている。



原宿の熊野講

(昭和56年 5月 町指定 無形民俗文化財)



明新の獅子舞

(70年振りに復活 58年公開された)



民俗芸能祭



比曽の三匹獅子舞

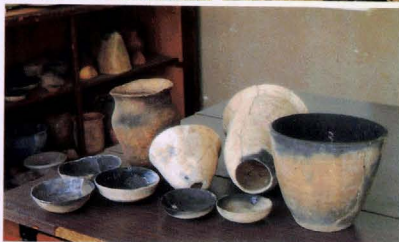
(相馬郡飯館村)



南町遺跡発掘作業



東の内遺跡発掘作業



南町遺跡出土品



恩賜林 県自然環境保全地域

昭和49年2月7日指定

今上天皇御即位記念に御下賜になった恩賜金により植栽したものである。



諏訪山保健保安林

町役場庁舎の東北約1kmにある約3.8haの面積をもつ県有地。

コナラ、イヌシデ、ハリギリ、コブシ、アサダなど直径90cm、樹令200年の大木が数多くある。



古山王の種蒔桜

淡紅色の花を咲かせるエドヒガン。樹令約230年の老巨木。苗代に種を蒔く頃に花が咲き、生きた暦の役をしてきた。



谷中八槻神社の大榎

昔神社の神木として植栽。2本が太くなり連結、樹令110年、幹囲4.5m程ある。



中丸、波柳池に飛来する白鳥。年々増える傾向にある。



中畑澄江寺の大杉

澄江寺境内にあって推定樹令400年、目通り幹囲6m、樹高30m余、大空に従容としてそびえる姿は歴史の重みを感じさせる。

一区の山車



二区の屋台



矢吹の秋祭りは九月二十八日～三十日（現在十月一日～三日）まで町の本通りを中心に、一区の屋台、二区の山車がお囃子に合せてねりあるいてにぎわっている。

二区は昭和三十年を最後に途絶えてしまったが、一区町民の復活についての要望と努力により、昭和六十年に復元された。一区の山車は多くの障害を乗り越えて一区自治会が引き継ぎ現在にいたっている。

曲目は「お囃子」「矢車」「七変化」がある。二区の屋台は、間口・奥行・高さ等の規模も大きく豪華なもので、二五年の歴史をもっている。

三城目の獅子舞、平鉾踊り



昭和50年 4月15日 町指定無形文化財

大和久天道念仏踊り



昭和56年 5月1日 町指定無形文化財

根宿の天王祭太鼓
（青年会により伝承）



善郷小児童によるぶち合せ太鼓



台風10号による集中豪雨（昭和六十一年八月）

阿武隈川の氾濫 中野目地区



床上浸水した三城目地区



田畑が水没し床上浸水した東川原地区

被害総額 3 億 5 千万円（史上最高）

昭和61年 8 月 4 日から 5 日早朝にかけて 253 mm の集中豪雨があり、阿武隈川及び隈戸川沿岸が増水して氾濫し、大きな被害をもたらした。

町では庁内に災害対策本部を設置、被害状況の調査と災害復旧に全力を傾注した。

また、姉妹都市三鷹市からは市長、議会副議長が災害見舞に来町された。

台風10号による 集中豪雨被災状況

各種施設関係

区 分	件 数	被 害 額
建設施設	32	38,595千円
農業施設	106	221,300
福祉施設	1	3,450
計	139	263,345

農産物関係

農産物名	被害面積	被 害 額
水 稻	194.0ha	44,030千円
工芸作物	1.1	1,907
豆 類	9.2	1,583
野 菜	68.2	37,641
飼料作物	0.8	488
桑	3.5	1,053
計	276.8	86,702

世帯浸水関係

区 分	1 区	2 区	3 区	5 区	柿之内	田内	三城目	三神弥栄	明新	中畑弥栄	計	備 考
床上浸水	1	1		1	4		11		2		1 21	被災人口75人
床上浸水	6	21	8	9	3	3	4	2		2	58	被災人口256人
計	7	22	8	10	7	3	15	2	2	3	79	

さわやかな田園都市をめざして

町人口の高齢化

二十一世紀をめざして、昭和五十八年に策定された第三次矢吹町総合振興計画は「しあわせな暮しづくり」調和のとれた産業「健全な人づくり」の二本の柱を基本にして、さわやかな田園都市の実現の基本構想を確かにし、矢吹町に住んでよかったとすべての町民が思う生活環境を創造することを目標としている。

賑わう中央大通り



公共下水道工事



近代化された農業



二十一世紀をにう子供たち
(健康マラソン)



敬老の日



70歳以上のお年寄りは1,400名を越し、町人口の7.6%を占める。

火の守りは万全(消防出初め式)



町内製造事業所名 (昭和61年工業統計による)

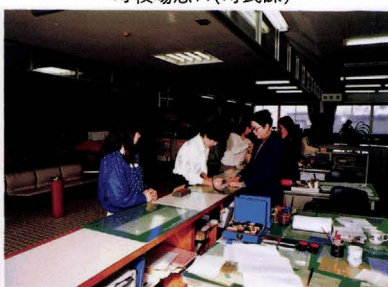
No.	企 業 名	住 所	No.	企 業 名	住 所
1	愛国工業㈱矢吹工場	滝八幡173	39	㈱正英製作所福島工場	堰の上351
2	曙ブレーキいわき製造㈱矢吹工場	丸の内360	40	昭和電機㈱矢吹事業所	中野目西362
3	朝日工機㈱	大久保48	41	佐藤フライス	中畑南185の20
4	㈱天乃屋福島工場	松倉742	42	(合資)真興機械製作所福島工場	神田東31
5	安田精密工機	南町170	43	㈱スズキ矢吹工場	曙町26
6	(合資)安藤製材所	中町267	44	スズキカバン	八幡町182の1
7	池尻電機㈱矢吹工場	小松231	45	須藤精密工業㈱	中町118
8	㈱イサミ木工所	曙町376	46	㈱ソーイング増子	中町64
9	㈱井戸沼木工所	曙町 2	47	㈱大洋製作所	大久保106の5
10	㈱いわい公害処理センター	弥栄49の 2	48	立石木箱店	八幡町151の2
11	薄井豆腐店	中町164	49	㈱高商白河工場	上教面220
12	永光化成㈱東北工場	中畑464	50	東亜道路工業㈱福島工場	北町81
13	江崎鋳金製作所	神田東14の 1	51	東京セメント工業㈱福島工場	諏訪の前15
14	エンタニ電子工業	北町157	52	東都食品工業㈱福島工場	北町248
15	江戸川ゴム工業㈱矢吹工場	大町33の 2	53	㈱東紅産業	善郷内8の2
16	(合資)大木代吉本店	本町 9	54	東北美装	中畑南95の1
17	㈱大沢ゴルフテック	中畑105	55	東北ゴルフウッド	北町68の5
18	㈱太田製作所	一本木92	56	㈱ナガシマ化学矢吹工場	神田西207
19	大野印刷	一本木206	57	㈱ナゴヤゴルフウッド矢吹工場	上宮崎21
20	大野精密工業	本町245	58	根本電子㈱	新町36の2
21	岡野鉄工所	大町53	59	根本縫製	東郷337の33
22	達藤縫製	北町37の8	60	野崎パン店	曙町350
23	神山製材所	小松26	61	野木印刷所	中町287
24	加藤堂工業	新町270の5	62	㈱日興工業所福島工場	中畑332
25	共和コンクリート工業㈱矢吹工場	神田東31	63	福島岩田塗装機㈱	丸の内227の1
26	㈱栗崎製作所	善郷内87	64	福島協栄㈱	堰の上305の 2
27	栗林縫製㈱	中町178	65	福島ケミコン㈱	丸の内185の1
28	㈱司村材木店	小松14	66	福島エレクトロニクス㈱	下宮崎361
29	㈱クレポー東洋	弥栄85の 1	67	㈱福島精密工業	花咲63
30	北工房	八幡町447の1	68	藤井製作所	神田南230
31	小林縫製	中畑121	69	藤田製作所	善郷内295
32	小室カバン	中畑南185の23	70	㈱フジドレス	大和内3の4
33	こばり製作所	本町94	71	㈱ファッション東京	小松231の2
34	小林電子	館沢244の3	72	ビーブル企画	中町165
35	佐藤鈎病店	小松43	73	㈱パンダイ電機	神田西134の4
36	㈱サトウ商会	花咲121	74	㈱マドール	中畑南185
37	サニーソーイング	大町280	75	丸信印刷社	本町218
38	柴田コンクリート㈱	五本町203	76	前場石材店	大町166

77	㈱緑マーク製作所	牡丹平150	90	㈱円谷電子工業	明新中 6
78	㈱溝井製作所	沢尻37	91	矢吹研磨工業所	善郷内263
79	美杉織維㈱矢吹工場	中畑南185の37	92	矢吹電子㈱	本町94
80	㈱ミヤノ福島工場	赤沢500	93	矢吹タイムス印刷	曙町305
81	ミラーテウーイング㈱	北町186の5	94	矢吹チューナー工業㈱	大町182の4
82	㈱宮島矢吹工場	小松155	95	矢吹精密宝石㈱	新町271の5
83	㈱村山鉄工所福島工場	西長峰550	96	矢田部豆腐店	本町212
84	関本豆腐店	中町211	97	山形印刷㈱	中畑南81
85	㈱森縫製	八幡町846	98	大和製作所	大和内2の1
86	森製作所	一本木374の1	99	夕刊やぶき新聞社	中町117の2
87	(社福)矢吹厚生事業所矢吹授産場	善郷内14	100	㈱渡辺縫製	一本木160の1
88	矢吹木型製作所	一本木168	101	渡辺製作所	八幡町185
89	㈱円谷製作所	明新西66	102	㈱渡辺鉄工建設	中町413

町議会会議場



町役場窓口(町民課)



矢吹町議会議員

(昭和62年 3月現在)

議長 円 谷 正 秋		副議長 水 戸 十 一	
井戸沼 辰 美	円 谷 悦 夫	十文字 重 康	円 谷 幸 八
関 根 寅之助	久保田 満	長 田 倉次郎	棚 木 良 一
菅 野 昌 和	吉 田 憲 五	泉 川 光	内 藤 重 治
水 戸 政 治	根 本 孝 雄	小 泉 喜 兵	塩 田 惣次郎
小 泉 重 一	遠 藤 守	草 野 徳 次	三 村 忠 蔵

町村合併後の歴代町長



白坂 武男
(昭和61.10.17)



市島 政秋
(昭和57.10.17
昭和61.10.16)



仲西 藤次
(昭和46.4.30
昭和57.8.30)



大木 代吉
(昭和38.4.30
昭和46.4.29)



野木 忠房
(昭和30.4.30
昭和38.3.31)

町村合併後の歴代助役



藤田 二郎
(昭和59.7.1)



近藤 正三
(昭和53.7.1
昭和57.10.31)



岩谷 好
(昭和47.7.1
昭和52.6.30)



北島 雄次郎
(昭和43.4.1
昭和46.5.15)



藤井 英由
(昭和30.7.1
昭和42.6.30)

町村合併後の歴代収入役



佐久間 忠雄
(昭和62.7.10)



関根 正吾
(昭和53.7.1
昭和57.9.30)



近藤 正三
(昭和51.10.1
昭和53.6.30)



大島 金一
(昭和40.11.1
昭和46.4.29)



佐久間 武
(昭和30.3.31
昭和40.4.23)

町村合併後の歴代教育長



円谷 行雄
(昭和58. 7. 15)



酒井 正敏
(昭和53. 10. 1)
(昭和57. 9. 30)



小林 重孝
(昭和43. 10. 1)
(昭和53. 9. 30)



円谷 庄助
(昭和30. 3. 31)
(昭和43. 7. 30)

町村合併後の歴代町議会議長



佐久間 俊勝
(昭和37. 10. 26)
(昭和39. 3. 30)



内藤 武雄
(昭和34. 3. 10)
(昭和37. 10. 26)



熊田 末二
(昭和32. 12. 24)
(昭和34. 3. 10)



栗林 俊雄
(昭和31. 4. 20)
(昭和32. 12. 24)



石井 兵庫
(昭和30. 4. 18)
(昭和31. 3. 30)



井戸沼 俊頼
(昭和43. 6. 17)
(昭和50. 3. 10)



安藤 悌蔵
(昭和47. 4. 11)
(昭和49. 6. 17)



大沼 力雄
(昭和44. 3. 12)
(昭和47. 3. 30)



内藤 武雄
(昭和43. 4. 27)
(昭和44. 3. 11)



富永 栄太郎
(昭和39. 4. 8)
(昭和43. 3. 30)



円谷 正秋
(昭和59. 4. 11)



小泉 喜兵
(昭和55. 4. 10)
(昭和59. 3. 30)



近藤 毅一
(昭和53. 3. 20)
(昭和55. 3. 30)



関根 正吾
(昭和51. 4. 8)
(昭和53. 3. 20)



渡辺 誠
(昭和50. 3. 10)
(昭和51. 3. 30)

〔国土調査にもとづく
字名変更〕

新字名	旧字名
中町	西側、東側、小山、岡谷地、東岡谷地、大林、小松、飛地山、的場、新田浦、大字中畑新田字須乗道西
大町	宮ノ前、焼山、山ノ神、鉄砲小屋、新田浦、大字中畑新田字番入浦、大字中畑新田字午夢作、大林、花咲山、関の上、巴谷、関山、山の神、櫻田、飛地山、大字中畑新田字午夢作、大字中畑新田字西浦山
本町	要蔵林、小松、東宅地、古宿、西側、東側、大林、柳堤込、北善郷内、西古宿、的場
北町	北善郷内、飛地山、西古宿、西宅地、東古宿、古宿、東宅地、西側、東側
善郷内	北善郷内、善郷内原、的場、島池下、小池下、堀北、小池下堀南、飛地山、小池堀、小松、要蔵林、東宅地、大池下堀北、大池下堀南
大池	赤坂西、善郷内、大池南、大池下堀北、東宅地、要蔵林、大池下堀南、飛地山、東古宿、北善郷内、大字中畑新田字前郷地
館沢	滝谷作、沢田、館ノ山、狐石、柳堤込、大林、西古宿、鉄砲小屋、古宿、西宅地、館下、古宿、陣場、井戸清水、八幡、早坂、陣場、西古宿、西宅地、古宿、古宿

曙町	岡谷地、小山、小池堀、善郷内原、東岡谷地、大字中畑新田字一本木、大字中畑新田字須乗西、大字中畑新田字須乗道東
小松	小山、小池堀、善郷内原、的場、東側、飛地山、小松
一本木	洪地谷地、大字須乗字藤兵衛、善郷内原、大字中畑新田字一本木、大字中畑字陣場、大字須乗字一本木、善郷内原
東郷	大字須乗字愛宕原、善郷内原、大池下堀南、小池堀、飛地山、北善郷内、小池下堀北、小池下堀南、大字中畑新田字一本木、大字中畑新田字前郷地、大字須乗字神の田、大字須乗字館の後、大字須乗字前郷地、小池堀
八幡町	東浦、須乗道西、須乗道東、一本木、大字中畑字三枝発田、大字中畑字大久保、横街道、中道北、中道南、石川道北、石川道南、大字矢吹字洪地谷地、北釜、陣場
新町	須乗道西、西浦、東浦、番入浦、午夢作、旗門場、西浦山、大字矢吹字横田、大字矢吹字新田浦、大字矢吹字山の神、大字矢吹字東岡谷地
田町	北釜東、横街道、北釜、旗門場、北浦、東浦、北釜西、大字中畑字稲荷釜
赤沢	赤沢山、愛宕山、深沢山、深沢、赤坂、上赤沢、下赤沢、鳥養、中島、狼久保、富田、堀ノ平
大和內	東後、西浦、大室田、狼久保、中島、鳥養、大字中畑新田字北釜、菱池、大字中畑新田字旗門場、大字中畑新田字東浦、大字中畑新田字西浦、大字中畑新田字北浦、大字中畑新田字北西
北浦	行人田、川の上、大字矢吹字原田、西後、菱池、大室田、大字矢吹字横田
川原	大字矢吹字館下、岩崎、狐石、清里川、仁池、横山、堀越、井戸尻、川袋、下水深、下の内、前田、川袋、大字柿之内字太田
堰の上	上川原、中川原、下川原、上川田、下の内、古山王、三釜森、奉行塚、餅田、井戸尻、上水深、笹目平、野出沢、堰の上、古山王、前田、三釜森

南町	愛宕山、飽度、赤池、愛宕下、太田山、三角林、繁の原、四角林、紫原山、八幡山、百万、平山、南山、太田、開耕、高島、三ツ池、泥池、旗鉢山、旗鉢
本郷町	大の原、上の原、金堀、一ツ長、東畑、宮の明屋敷、雷神山、油久保、池の入、岡の内、開耕、三ツ池、泥池、旗鉢山、旗鉢
境町	蒼平、桜田、丹波川原、角田、鶴見、深沢、向川原、餅田、大字高林字阿弥院前、大字高林字丹波川原、池の入、岡の内
子清水	北田山、北田、清水、セリ沢、大字小川字芹沢、入の沢、夏梨、前田、大字大和久字白田
東の内	大字大和久字白田山、大字大和久字白田、白田、太田大和久字大久田前、太田大和久字川袋、大字大和久字上水深、大字大和久字笹目平、大字大和久字下水深、川袋、坂下、高島、辻堂、泥池、東の内、長命
田内	狐久保、瀬戸、宮下、命安、大字高林字滑し返り、油久保、入の沢、坂下、長命、辻堂、夏梨、前田、東の内、大字大和久字白田、大字大和久字大久田前
国神	亥のの、蟹沢、河原毛内、木の町、熱田、藤内、森、谷地中、越中山、外山、大隈、綿、林崎、古林、山田、越中
大畑	落合、山ノ神、大字中畑字大橋
文京町	愛宕下、三枝発田、落合、陣場、花山、大字中畑新田字一本木
大久保	上荒具、滝向、愛宕下、二枝発田、松房、三田、北釜、大久保
鍋内	恵高田、中の町、愛宕下、二枝発田、三角田、高田向、壇山、陣場、寺内、鍋内、花山、柳原
寺内	陣場、山ノ神、落合、大字大畑字大橋、助治久保、壇山、坂西、寺内、谷地、向
寺内	新林、杉菜窪、四斗崎、飯西、落合、下荒具、高日向、壇山、陣場、寺内、鍋内、祭田、柳原
中畑	寒平、原宿、風呂向、本村、柿谷地、下荒具、エミ

天 間	五輪平、七々作、矢堤、離山、八防塚、新蔵前、 八幡山、向山、池の入、後作田、天間山、堂の隠、 茶畑、角窓内、根岸、薄清水、熊の前、恋の沢、 陣ヶ岡、風蔵坊
白 山	池田、前耕地原、池向、中の作、馬番、広町、反 り田、大山、和田館、西の内、高井作、度路久保、 高保路、田宿、寺の前、膳田、堀口、兵衛塚、郷 戸、上町、奉行塚
奉行 塚	奉行塚、弘法山、池下、久当山、吉作、蝦夷穴前、 大字神田字吉作、郷戸、横山、塚の越、谷中、太 字神田字戸の内
陣ヶ 岡	加賀山、下古川、上古川、小松川原、風蔵坊、恋 の沢、陣ヶ岡、薄清水、根岸、北ノ内、小松館、 二度乗
三城 目	蔵の後、下町、北ノ内、落水、上町、石崎、郷戸、 奉行塚
東川 原	高縄、鶴舞田、川原町、高大縄、会ノ田、新田川 原、中沖、小松館、三度乗、長畑
中 沖	樋田、茶屋ノ前、鍛冶池、大木ノ前、折口、石崎 中沖、奉行塚、高大縄、会ノ田、新田川原、長畑
谷 中	下久当、梅本平、谷中下川原、下碓山、上碓田、 塚の越、谷中、碓田、奉行塚、大字神田字川原
沢 尻	七々久保、本沢尻、大字神田字後西原、大字須乗 字沢尻、沢尻原、堀口、上沢尻、沢尻、大字大畑 字赤羽下、大字神田字本沢尻、大字大畑字沢尻
牡丹 平	笠平、天保山、箕輪、行人田、笹子山、出合赤坂、 勝五郎久保、牡丹平、淡地池、鳴田、大字矢吹字 大池下堀北

第一区

庄酒栗高富草菊手理小会長渡円川山徳梅森森大菊渡熊野首安内小鈴菊熊糠渡服山口
司井林桑田野地井島崎林田尾正重シ倉今朝勝次ク豊雄助恵房二蔵郎策郎一吉雄勇八
ン雄夫作男賛介昭雄次久昭夫治雄清次ク豊雄助恵房二蔵郎策郎一吉雄勇八

第二区

大丹大眞梅高平熊根熊室堀溝山志宗小徳佐渡青会芳根中上青川安佐円堀藤佐
沼野野津壁原賀田岸田井江井田賀像貫永藤辺木田賀本畑田政正伊忠誠政義尾吉守ト
秋龜万フ豊四郎喜三治春計昭人秀力英太郎七郎男登重キヨ三郎一庄辰雄雄治治一治青郎成ミ

藤石尾高佐佐矢海普渡松大酒大金正徳佐渡青会芳根中上青川安佐円堀藤佐
田井川橋久藤島久田老野龍崎野板河原沢原小竹大沼久間渡辺西山藤近山木地田沢谷尾久間
由兵米二郎直勝忠倉高次懸一近郎美助子三ツ友安治典吉雄力代七知毅勝正久満雄尾メ七三郎健一郎宗太郎

第三区

富渡根根大梅草加小三三渡野小梅根小野野佐久阿市岡淵仲石佐伊仲屋
田久間本本寺宮野針村村辺崎宮本針崎迎久間部島田田西川久間藤西西形
一慶之助治一喜ハ育子武忠助朝末忠征儀源精次郎政政政豐勝寛武盛美祐子ヲ尚

第五区

高須小須白三石渡渡吉井鈴永熊長星野佐鈴星根星星高高山久星久星坂高十文星阿
和藤河藤旗村井刃刃上木沼田正新勝信藤木野本星星善善主司郎辰喜喜喜成助芳善邦春重利武
靖ンク男一業房志治男清則進郎雄行博雄正喜太郎二三成助芳善邦春重利武

第四区

第六区

須青根矢加安角須栞之内長渡矢宗普新野満眞吉平三小山加小木小丹小長高入関宗
藤山本吹藤田田藤之内尾部像野井木波岐船田田針野藤川田島野沢岐江江根形
利光點明新治直一郎郎和清弘七次郎秋夫喜正昭子一弘七次郎秋夫喜正昭子

三神弥栄

吉田清作

山田貞耕

小針喜松

矢吹町役場

編纂委員事務局

八巻幸雄

明新

塩田喜代典

柏村佐久吉

矢吹幼稚園

教育長 小林重孝

斎藤重吉

内藤武雄

笠井春吉

富永益太郎

社会福祉法人矢吹幼稚園天風寮

教育次長 円谷正

南原吉仁

渡辺常一郎

富永井喜一

仲島平之郎

町立矢吹母子寮

囃子 円谷正

鶴飼伝一

内藤重敏

塩田良一

高久定之助

県立矢吹南校

丸木善人

鶴飼正直

井沼敏雄

富永敏雄

高久ミチ子

矢吹地区国省総合開発促進協議会

学校教育係長 荒川一男

瀬谷直

藤井友治

小針喜代子

高久サワノ

富島郡矢吹第一苗圃

社会教育係長 星主之助

鵜飼トメ

泉川沿岸遺跡調査関係者

佐藤喜子

高久典雄

矢吹郵便局

社会教育係長 星主之助

沢根幸巳

福島県教育庁文化課

水針清子

高久二

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

関根忠良

福島県白河農地事務所

水戸勇吉

高久喜芳

町立矢吹中学校

社会教育係長 星主之助

関根忠良

矢吹町役場

赤塚シシ

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

神田喜兵

同文化財保護委員会

水戸忠雄

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

小泉喜智

同公民館連絡委員会

佐藤俊雄

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木英由

同郷土史研究会

長尾重幸

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木重一郎

同中畑地区公民館

小針金重

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木精七

阿武隈考古学研究会

小針セツ子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木茂次

同郷土史研究会

水戸ミツ子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木ノイ

同郷土史研究会

吉田セツ子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

五輪俊文

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

木本元治

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木清春

同郷土史研究会

和山都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

鈴木寅三

同郷土史研究会

吉田都代子

高久雄

町立矢吹小学校

社会教育係長 星主之助

目で見る矢吹町史再版関係者

町長	白坂武男
助役	藤田二郎
収入役	佐久間忠雄
教育長	円谷行雄
町議会議員	円谷正秋
教育委員会事務局	
教育次長	大木豊
主幹兼学校教育係長	青木修一
社会教育係長	遠藤大
主事兼社会教育主事	阿部正人
主事	熊田真由美
社会教育指導員	佐藤隆
中央公民館長	星圭之助
元矢吹町史編纂室長	藤田正雄
前教育次長	大竹光典

総務課	町民課	都市計画課	建設課	農業振興課	保健課	税務課	出納課	商工振興課	企画課	農委事務局	議事局	中道公民館	水道事業所	ひがし保育園	にし保育園
前社会教育係長兼社会教育主事	長岐敬一	前社会教育係主査	矢部静	前派遣社会教育主事	中野英二										

矢吹幼稚園	中央幼稚園	中畑幼稚園	三神幼稚園	矢吹小学校	善郷小学校	中畑小学校	三神小学校	矢吹中学校
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(監修)

福島大学教育学部教授
文学博士 小林清治

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1985	昭 和 60	8.14	合併30周年記念矢吹音頭踊り流し。	矢吹町長 白坂武男 (昭和61～)
		8.31	合併30周年記念三鷹市管弦楽団演奏会。	
		9.21	合併30周年記念交通安全鼓笛隊パレード。	
		10. 1	国勢調査。人口18,249人。	
		10.31	町民テニスコート完成。	
		11. 1	広報やぶき200号発行。第2白山団地分譲はじまる。	
		11. 3	町村合併30周年記念式典行なわれる。合併30周年記念誌発行。	
		11.19	中畑簡易水道配水場整備工事着工。	
		11.25	中央幼稚園10周年記念各種大会。	
		12. 1	F T V わがまちシリーズで矢吹町紹介放映される。	
		12. 9	86年の歴史を残して法務局矢吹出張所廃止。	
1986	61	1.21	町政座談会開催。	
		3. 3	矢吹駅始発列車運行式。	
		3.15	町議会200回記念植樹。	
		3.25	第2白山団地完成。	
		5.23	学校農園開園式。	
		5.28	三神地区県営ほ場整備事業落成式。	
		5.31	三城目簡易水道第2次拡張工事着工。	
		6. 1	オンラインシステム導入。	
		6.14	矢吹高校独立10周年記念式典。	
		6.24	三神小学校新築工事着工。	
		7. 6	衆参同日選挙。	
		7.11	都市計画用途地域設定公聴会。	
		8. 1	にし保育園建築工事着工。	
		8. 5	集中豪雨で史上最高の被害を受ける。	
		8. 7	中畑スボ少、ソフトボール県下一となる。	
		9.30	町長選挙告示。広報やぶき縮刷版発行。	
		10. 5	町長選投票日。	
		11. 1	国鉄ダイヤ改正により、矢吹駅始発列車4本に増える。	
		11. 6	国営矢吹地区総合農地開発事業・第5工区区画整理事業撤入式。	
			福島エレクトロニクス㈱落成。	
		11.19	大池住宅新築工事着工。	
		12.10	8.5集中豪雨復旧工事着手。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1983	昭 和 58	4.10	福島県議会議員一般選挙。	
		4.27	老人福祉センター落成式。	
		5.10	老人福祉センターオープン。	
		5.17	音の出る信号機設置。	
		5.31	ことぶき大学10周年祝典。	
		6.26	参議院議員通常総選挙。	
		7.30	花火大会 8年ぶりに復活。	
		9.30	ゲートボール場完成。社会科副読本「わたしたちの町やぶき」発刊。	
		10. 2	加波山事件百年記念講演会。	
		11. 3	矢吹町民憲章制定。	
		11.10	第3次矢吹町総合振興計画策定。	
1984	昭 和 59	1. 1	30年の歴史を残して母子寮廃止。	
		2.24	大池公園、総合公園として都市計画決定。	
		3.11	矢吹ヶ原開拓弥栄入植50周年記念式典。	
		3.25	町議会議員一般選挙。	
		4. 1	各種手数料の料金が改正。立体交差建設計画決定。	
		4.30	三神幼稚園園舎増築工事完成。	
		6.30	善郷小プール工事完成。赤沢土地区画整理組合設立準備決定。	
		7. 1	母子家庭に医療費を助成。	
		7. 2	善郷小プール開き。	
		7.15	矢吹町農業委員会委員選挙。	
		7.19	交通指導車購入。	
		8.31	第1回矢吹町統計グラフコンクール行なわれる。	
		9. 1	幼年消防クラブ結団（ひかし保育園）	
		9. 2	福島県知事選挙。	
		9. 9	大和久天記念仏踊り、北海道ブロック民俗芸能大会に県代表として出演。	
		9.29	矢吹町臨時行政調査会、行政見直し答申される。	
		10. 1	二区屋台30年ぶりに復元される。退職医療制度発足する。	
		10. 6	緑マーク製作所竣工落成式。	
		10.11	上水道第10水源さく井工事完成。	
		10.22	矢吹西部土地改良区総代総選挙。	
		11. 4	矢吹中学校20周年記念式典。	
1985	60	11. 5	三城目簡易水道第4水源さく井工事完成。	
		11.10	山形印刷福島工場竣工式。	
		12.20	大池公園事業着手。	
		12.25	中畑小学校校舎増築工事完成。	
		1.14	東京チューナー工業術進出。	
		2.17	参議院議員福島地区補欠選挙。	
		2.28	勤労者体育館完成。	
		3. 6	商工会青年部中小企業庁長官賞受賞祝賀式。	
		3.13	「急行あづま号」サヨナラ運転。	
		3.24	矢吹郵便局新局舎落成。	
		3.31	町村合併30周年。	
		4.19	万才橋渡り初め。	
		5.17	町村合併30周年記念植樹祭。	
		6. 1	大池球場夜間照明施設完成。	
		6. 8	矢吹駅周辺開発整備促進協議会発足。	
		6.10	福島協栄柳竣工。	
		6.18	野坂電機進出。幼年消防入団式（ひかし保育園）。	
		6.27	第9回県展移動展（勤労者体育館）。	
		6.30	町村合併30年科学万博町民号運行。	
		7. 1	ゴミ指定袋による収集開始。	
		7.15	三城目簡易水道第2次拡張工事竣工。	
		7.26	大池公園・五本松の松並木、緑の百景に選ばれる。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1980	昭 和 55	7.25	矢吹第2小(仮称)本校舎建設工事着工。	
		9.22	三城目集落センター着工。	
		9.25	新設小学校を「善郷小学校」と命名。	
		10. 1	国勢調査。人口17,578人。	
		10.21	交通死亡事故ゼロ400日達成。	
		11.11	矢吹町史出版祝賀会。	
		11.12	N H K総合テレビで町を紹介。	
		11.14	中野目農事組合が農林水産大臣賞受賞、披露式。	
		12.16	大久保団地第2次分譲募集開始。	
		2.26	三城目集落センター落成。	
		3. 4	消防庁長官表彰旗受賞。	
1981	56	3.25	交通事故死亡ゼロ555日達成。	
		4. 1	新生活運動「香典返しの廃止、病欠見舞返しの廃止」がスタート。	
		4. 2	町立善郷小学校開校式。	
		4.22	交通死亡事故ゼロ、582日でストップ。	
		5. 1	三十三観音磨崖仏、大和久の天道念仏踊り、原宿の熊野講を町文化財に指定。	
		5.18	阿由里川(三城目)に自動転倒堰が完成。	
		5.28	日本消防協会表彰旗・福島民報「金ばれん」受賞。	
		5.30	町内に晩霜被害。	
		6. 6	矢吹小の木造校舎取壊し始まる。	
		6.25	西部簡易水道事業が着工。	
		6.26	矢吹町消防団各賞受賞祝賀会(町内パレード)。	
1982	57	7.17	農業委員の統一般選挙。	
		8. 1	矢吹小・善郷小の増・新築工事が着工。	
		8.29	町民憲章案作成町民会議準備会発足。	
		9.19	総合防災訓練。	
		10. 1	三神簡易水道が着工。	
		10.25	第1回矢吹町「さわやか健康マラソン」大会。	
		1. 1	西部簡易水道の一部が完成(柿の内、田内地区)	
		2. 1	福島空港の建設地として須賀川東地区に決定。	
		2.23	都市計画区域(拡大)変更決定。	
		3. 1	三鷹市婦人団体と矢吹町婦人団体交歓会。	
		3.10	矢吹小学校増築工事、善郷小学校の第2期工事が完成。	
1983	58	3.31	矢吹町営相模場が完成。	
			福島交通の矢吹～長沼線、矢吹～石川線が利用者の減少に伴ない廃止。	
		4.15	三神簡易水道の一部が完成し、須賀新田地区に給水開始。	
		6. 6	矢吹町営相模場の土俵開き記念相模大会開催。	
		6. 9	移動図書館「あかまつ号」運行開始。	
		6.23	東北新幹線開業。	
		8. 4	矢吹小学校緑の少年団知事表彰。	
		8.20	老人福祉センター造成工事着手。	
		8.28	三鷹市・矢吹町交流演奏会。三鷹市管弦楽団、矢吹中吹奏楽部と共演。	
		8.30	仲西藤次町長急逝。	
		8.31	老人福祉センター建設工事着手。	
1983	58	9. 6	故仲西藤次町長の町葬を善郷小学校体育館で挙行。故仲西藤次氏に特別功労賞贈らる。	矢吹町長 市 島 政 秋 (昭和57～61)
		10.17	矢吹町長選執行。	
		10.23	東京矢吹会設立。	
		10.24	県美術祭合唱祭を中央公民館で開催。	
		10.30	大久保集会所完成。	
1983	58	11.14	中央公民館開館10周年記念感謝状贈呈(あゆり祭)。	
		2. 1	老人保健法施行される。	
		3.25	三神西部簡易水道落成式。	
		3.31	三城目グラウンド完成。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1977	昭 和 52	11.18	三神幼稚園改築工事完了。	
1978	53	2. 1	ひまわり公園オープン。	
		3.20	大池地区・松倉地区農村広場完成。	
		4. 3	ひがし保育園開園式。	
		4. 8	中畑・三神幼稚園に通園バス運行。	
		4.17	小池集会所の建設工事完了、名称は「小池会館」と決まる。	
		4.23	矢吹ライオンズクラブより広報車贈られる。	
		6.24	矢吹勤労者体育センター（50m・幼児用プール）落成式。	
		6.25	中央幼稚園新築工事に着手。	
		6.27	建築基準法第6条第1項第4号(建築物の建築等に関する申請及び確認)に規定する区域の指定。	
		6.30	雇用促進住宅建設予定地決定。25m プール工事に着手。	
		7. 1	上水道第2次拡張工事。	
		7.10	新町児童公園工事に着手。	
		7.15	移動図書館「ひばり号」運行開始。	
		8. 5	第23回インターハイ自転車道路競走(ロードレース)が当町の広域農道を通過する。	
		8.19	初の矢吹音頭踊り流し行なわる。	
		8.26	三鷹市民管弦楽団の協力で親子音楽会開催。	
		9.22	雇用促進住宅建築着工。	
		10. 7	中畑弥栄地区に「ミニライセンセンター」完成。	
		11. 1	矢吹・中畑幼稚園に通園バス運行。	
		11.25	中央幼稚園落成式。	
1979	54	12.15	都市計画公共下水道事業認可。	
		1. 1	上水道第2 浄水場給水開始。	
		2. 2	公共下水道（雨水）事業開始。	
		2. 9	中畑幼稚園用地取得。	
		3.30	町道赤沢2号線開通式。	
		4. 8	福島県議会議員選挙。	
		4.10	福島県農業経営大学校開校式。	
		4.22	町議会議員補欠選挙。	
		5. 1	新東京国際空港（成田空港）が開港。	
		5.24	矢吹町消防団に知事表彰旗。	
		6.19	矢吹駅前に自転車専用駐車場オープン。	
		6. 1	宮城県沖地震で死者28人)	
		8.10	雇用促進事業団矢吹宿舍入居開始。	
		8.14	街路灯（400基）点灯式。	
		8.20	中畑幼稚園園舎建設工事着手。	
		8.29	農業電話が一般電話に切替。	
		8.30	三神地区多目的施設建設工事着工。	
		9. 1	矢吹小で週2回の米飯給食始まる。	
		9.28	矢吹ライオンズクラブ、町へバイクを寄贈。	
		10. 2	第1回西白河郡老人スポーツ大会。	
		11.11	第1回矢吹町民俗芸能のつどい開催される。	
		11.14	小池公園オープン。	
1980	55	11.21	三鷹市議会議員来町。	
		1.16	中畑幼稚園園舎落成式。	
		2.14	文京団地第2次分譲事業開始。	
		3.23	町議会議員一般選挙。	
		3.31	三神診療所廃止。	
		4. 1	役場窓口事務の電算化。消防矢吹分署が矢吹消防署に昇格。	
			土地の表示「大字・字」を廃止。	
		4.15	多目的研修会館オープン。	
		4.20	矢吹第2小（仮称）造成工事着手。	
		6.22	初の衆参同時選挙。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1974	昭 和 49	7. 7	参議院議員通常選挙。	
		7.16	矢吹町防犯協会設立。	
		7.20	町役場新庁舎建築工事地鎮祭。	
		8. 3	第一回三鷹市とのスポーツ交流会。	
		8.17	若者の祭典実施。町の花に「しゃんらん」、町の木に「あかまつ」が選定される。	
		9.28	町道八幡一北替線改良舗装工事、中畑小給食施設工事着工。	
		10. 1	重度心身障害者医療無料化実施。	
		10.11	矢吹町公共下水道基本設計委託。	
		11. 1	乳幼児をもつ母親のために「お母さん必携」を発行。	
		12.	国土利用計画法が施行。	
1975	50	1.26	女の歴史展開催。	
		3. 1	「目で見る矢吹町史」完成。	
		3.18	福島県首都圏農業確立運動コンクール畜産部門で寺内酪農研究会が知事賞受賞。	
		3.20	矢吹町ソフトボール協会設立。	
		4. 1	水道料金改正。中畑小完全給食開始。教育委員会に町史編纂室設置。	
		4.13	福島県議会議員選挙。	
		4.15	三城目獅子舞・平鉄踊りが町無形文化財に指定。寿大学に360名入学。	
		7. 1	印鑑登録証明が変わる。	
		8.21	町役場新庁舎落成式。	
		8.22	消防操法競技白河地方大会で、第1分団第3部が小型動力の部で優勝する。	
		11. 3	町役場庁舎落成記念町民大運動会開催、3000人参加。	
			町民の歌決定、町民に披露。	
1976	51	1. 1	阿武隈川上流流域下水道事業計画きまる。	
		3. 1	大林に児童公園第1号完成。	
		3.25	町議会議員選挙。	
		3.31	第2次矢吹町振興計画できる。	
		4. 1	中央幼稚園開設。	
		4.20	あなたと町長の立ち話始まる。	
		4.	東北自動車道、県内全区間開通する。	
		5.	定例記者会見はじまる。	
		5.28	矢吹町消防団民友表彰を受ける。	
		5.	エリザベス女王来日。	
		6. 6	三神地区果営は場整備事業全体計画きまる。	
		6.22	総合グランド整備計画答申案まとまる。	
1977	52	8.28	矢吹町畜産共進会開催。	
		9. 1	農作物異常低温対策本部設置。	
		9.30	無火災記録424日でストップ。	
		10.18	都市下水道（小池都市下水道）都市計画決定。	
		11. 1	水道メーター検針・料金徴収が隔月になる。	
		1.28	第1回発明工夫展開催。	
		1.	小池都市下水道事業着手。	
		1.31	オリエンテーリング公認コースの名称「光る風コース」と決定。	
		2. 1	小松児童公園完成。	
		5.20	県立矢吹高校独立祝賀式典・校舎落成式典。	
		5.28	矢吹町文化会議発足。	
		6. 1	「広報やぶき」第100号発刊。町議会広報第1号発刊。	
		6. 6	広城宮農団地農道（五間道）完成。	
		6.24	田町運動広場完成。	
		7. 1	三神幼稚園改築工事に着手。	
		7.10	参議院議員選挙。	
		7.27	中畑地区果営は場整備事業竣工祝賀式。	
		8. 2	白河地方消防操法競技第2分団第9部が小型ポンプの部で優勝。	
		9.20	町民の歌のレコード完成。	
		10. 1	第2保育所建設に着手。	
		10. 8	大池公園整備・松倉地区農村広場建設に着手。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1970	昭 和 45	12.15	長峰部落公民館落成。 12月15～16日 松倉、寺山遺跡発掘調査。	
		12.26	矢吹町職員労働組合結成される。 この年泉川河川改修、中畑地区園地整備始まる。 2月2日に駒矢アツデン、3月1日に昭和電機駒矢吹事業所、4月に東亜道路 駒福島工場、同榮田工務店矢吹工場、10月5日に駒ナゴザゴルフウッド矢吹工 場、6月15日に佐藤繊維駒道出。 このころ子供会活動盛ん。婦人学級盛ん。家庭バレーボール普及され盛んに行われる。	
1971	46	2.26	三神小学校屋内体育館完成。	
		2.28	白河農工高校矢吹分校移転(稲荷釜地内に)校舎完成。	
		3.10	定期バス旧国道運行となる。(白河～郡山線)	
		3.20	根宿の行馬遺跡発掘調査。	
		4.14	旧中畑陣屋の二本榎県指定天然記念物となる。	
		6.1	矢吹インターチェンジ設置決まる。 (国土開発幹線自動車道建設審議会において)	
		7.5	根宿を開き県政懇談会開催。	
		11.	おくのほそ道自然歩道(白坂明神～矢吹間)完成記念式。	
		12.18	円切り上げ。(1ドル 308円)	
			この年田内園地整備事業始まる。農免道路整備事業始まる。 3月に福島サンコット駒、10月1日に駒城南工業所、12月に帝国コンクリート 駒白河工場進出。一本木住宅(町営)20戸建設。 45年に引き続き米の生産調整実施(5ヶ年にわたり稲作転換)	
1972	47	1.9	札幌オリンピック冬季大会聖火リレー矢吹町通過。	
		2.17	松房池に白鳥来る。	
		4.1	白農工矢吹分校、学校移管により県立白河高校矢吹分校となる。 鬼穴古墳群県指定史跡となる。	
		4.5	沖繩密約漏えい事件。	
		4.	白河広域圏消防署矢吹分署開所。	
		5.15	沖繩復帰。	
		6.	国営総合農地開発事業促進協議会発足。	
		7.31	日大誘致断念。8月2日の町議会に報告了承を得る。	
		8.16	夏の成人式となる。	
		9.16	中畑弥栄部落公民館落成。	
		9.29	日中国交正常化される。	
		12.	町振興計画「昭和60年を目標に『さわやかな田園都市』づくりをうち出す」 12月23日～30日 森郭遺跡発掘調査。 この年5月1日に東包商事駒矢吹工場、7月に朝日工機駒、77日に東北シャ ーリング駒、8月4日に駒宮島進出。	
1973.	48	1.16	矢吹町史編纂委員会発足。	
		1.27	ベトナムと平和協定調印。	
		2.	石川道路切で大型トラックが特急に衝突し、ダイヤ大混乱。 3月1日～30日 下荒貝B・C遺跡・カニ沢遺跡・越中山遺跡発掘調査。 3月5日～10日 東北新幹線田内、芹沢遺跡発掘調査。 3.20 ガン遺放の町宣言。水俣病裁判被害者側勝訴 3.25 一般農道長峰線改良工事。町道成田線・神田線・大池線舗装。 4. 乳児保育始める。(保育所) 5.18 矢吹中央公民館開館式。 5. 後保護指導所が社会福祉法人白梅荘となり開設。 6.14 中畑小学校プール開き。(町内各小・中学校にプール建設終る) 6.30 三城目簡易水道工事完了。給水始まる。 9.14 日大敷地返還される。 11. 東北縦貫自動車道(白河～郡山間)開通。矢吹インターチェンジ開通。 この年9月10日に東伸電子駒道出。	
1974	49	2.7	県自然環境保全地域に恩賜林と五本松の松並木決定。	
		4.1	矢吹町救護院が社会福祉法人移管となる。	
		5.1	矢吹小学校完全給食実施。大林に5階建町営住宅建築落成。	
		6.7	下荒貝古墳群を町重要文化財に指定。	

矢吹町長 仲西 華次
(昭和46～57)

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1967	昭 和 42	9,	町商店街の街路灯(水銀灯)取付ける。	
		9,30	福島県更生寮、経営主体社会福祉法人となる。	
		10,	役場の中畑・三神出張所を廃止する。	
		12,	西白河地方衛生処理一部事務組合設立。	
1968	43	3,31	東北電力白河営業所矢吹出張所が一本木に新築移転。 上水道竣工。国土調査事業(地籍調査)完了	
		4,	国保給付乳児10割。	
		5, 8	イタイイタイ病公告と発表。	
		5, 1	矢吹町章制定。	
		7,	収集車によりゴミ回収処理開始。	
		8,13	ヘリコプターによる農薬空中散布実施。	
		9,26	水俣病を公害病に認定。	
		9,30	矢吹町統合中学校竣工。	
		9,	町道成田線の一部舗装。国道4号線田内線交差点に信号機取付ける。	
		10, 1	矢吹中学校落成式。矢吹町合併15周年(明治百年)記念のアトラクションで、 統合中学校体育館において東京交響楽団演奏会。	
		10, 6	ミス矢吹コンテスト発表会など行われた。	
		10,17	川端康成氏にノーベル文学賞。	
1969	44	11,	矢吹有線放送事業落成式。	
		12,10	三億円事件。 この年1月、日大理事会において教育施設設置を決める。旧矢吹中学校々舎 用地の無償譲渡了承を得、5月2日の町議会に諮り議決される。 消防自動車2台車庫内に配置。有線放送開始。節日高電機矢吹製作所、東都 食品納品福島工場(9月)進出。	
		1,18~19	東大安田講堂事件。	
		3,16	根宿部落公民館落成。	
		4,13	矢吹小学校火災。	
		4,25	白河・郡山間急行バス旧国道運行される。	
		5,26	東名高速道路開通。	
		5,29	西郷村4号国道で無許可トラック二重衝突。農家の主婦ら7人死亡、14人負傷。	
		6,	町道入江線土地所有者の寄付により竣工する。	
		6,	西原部落公民館落成。 7月16日～20日 谷中古墳・鬼穴古墳の発掘調査。	
		11,	いげたストア開店。	
		12,10	矢吹小学校々舎新築落成。	
1970	45	12,10	町道東裏線舗装。中畑新田・大和久線舗装。 この年2月に福島精密工業㈱、4月1日に東北池尻電機㈱、9月15日に協和光 機、12月1日にミツウ石綿工業㈱福島工場が進出。大和久地区面整備事業 始まる。アメリカシロヒトリ町内に発生する。小松住宅(町営)20戸建設。引 続き45年までに60戸建設される。	
		3,14	日本万国博覧会開く。	
		3,31	よど号乗取り事件。	
		4, 1	西山公園墓地開園。 5月7日～18日 三峰森・塚ノ上・井戸尻遺跡の発掘調査。	
		5,	西白河郡1市1町6村広域市町村圏指定受ける。 6月5日～13日 狐石・平山遺跡の発掘調査。	
		6,22	安保条約自動延長。	
		7,	三城目の時報がオルゴールにかわる。	
		8, 1	米の生産調整を実施。休耕田の転作を指導(減産639トン、減反148ヘクタール、 奨励金約5180万円交付された。	
		8,10	中畑幼稚園が診療所跡に移転竣工。	
		9,13	山形市で行われた東北民俗芸能大会の県代表に三城目獅子舞・平飯踊り出演。	
		9,	福寿会館(老人簡易集会所)開所式。	
		9,	旧国道大和久線舗装。 10月1日現在の人口15,666人(男 7,609、女 8,057) 世帯数 3,279戸	
		11,15	旧国道廻りバス運行される。	
		11,25	三島由起夫割腹自殺。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1962	昭 和 37	4.	矢吹町は広域農業振興事業モデル地区の指定を受ける。 大池町営グラウンド開設。	矢吹町長 大木 代 吉 (昭和38～46)
		5.	狐石地区に町営と場落成。	
		7.	東京・若松・仙台・山形間に東北急行バス運行開始。	
		10. 1	矢吹町民体育館落式。	
		10. 7	西白河地方農協労組結成。	
		11. 5	福島県矢吹更生寮開所式。	
1963	38	3.	東北本線白河・郡山間複線工事完成。	
		4. 1	福島テレビ(FTV)開局。	
		4.14	県南酪農組合連合会労組結成。	
		6.	矢吹町1区消防車を水槽付消防車に改造。消防団員定数を360人とする。	
		7.	農業委員の定数を22名とする。	
		7.	白河電子工業㈱矢吹工場進出。	
		10.11	矢吹原開墾事業完工式。	
		10.	国保給付世帯主7割となる。	
		11.	日本酪農講習所改築落成。消防自動車1台中畑(本村)に配置。 この年県立須賀川女子高等学校独立して開校。白河の馬市廃止。大池町 営住宅30戸建設(昭和40年に6戸建設)	
1964	39	3.	町議会議員定数を22名とする。	
		6.	矢吹神社拝殿焼失。	
		7. 2	三鷹市と姉妹都市締結。	
		8.	矢吹デパート開店。	
		9.30	東京オリンピック聖火リレー矢吹町を通過。	
		10.	家畜市場を大和久地内に新築落成。	
		10. 1	東海道新幹線営業開始。	
		10.10	第18回オリンピック東京大会。	
		10.	消防自動三輪車大和久に配置。	
		10	国営開拓事業所閉所。	
		12.	大和久地内「電神橋」。中畑地内「滝川橋」竣工。 この年小池住宅(町営)30戸建設(40年に24戸建設)	
1965	40	1.	並木宝石矢吹工場(落成)進出。	
		3.	矢吹保育所新築落成。	
		4.	統合矢吹中学校発足。 中畑幼稚園開園。	
		6.	矢吹保線支区開設。	
		7. 1	名神高速道全線開通。	
		7.12	上水道工事着工(4ヶ年継続)	
		10.	10月1日現在の人口15,690人(男 7,676, 女 8,014) 世帯数 3,013	
		10.	矢吹縫製工場進出。	
		10.21	朝水振一郎氏にノーベル賞。	
		12.	役場窓口に町民控室をつくる。この年家庭バレーボール始まる。	
1966	41	1.20	県立白河農工高校矢吹分校農業科全日制となる。	
		2. 3	ソ連衛星国月面着陸成功。	
		2.13	田内林道工事竣工(1,287 m)	
		3.	消防自動三輪車1台1区に配置。	
		4.	町道旭町舗装。中畑新田舗装。	
		4.	鵜瓦光製作所落成。	
		7	国保給付金被保険者7割となる。	
		12.	愛国工業㈱矢吹工場進出。	
1967	42	2.	中畑地内泉橋(永久橋)竣工。大洋製作所進出。	
		3	授産場新築落成。	
		4. 1	町に交通指導員3名設置。	
		4.	大和久線舗装。	
		6.17	矢吹ベンクラブ創立総会。この年『矢吹文芸』出版。	
		7.	西白河病院開院。	

西 暦	年 号	事 項	備 考
1956	昭 和 31	1, 14 羽島ダム開田。中畑新田地区輸入式。 2, 矢吹町に女流旬会「草の芽」誕生 3, 1 授産場移転新築される。 3, 20 矢吹・中畑・三神の三農業共済合併して矢吹農業共済組合となる。 5, 第1回赤ちゃんコンクール大会開催。 6, 三神小学校々舎改築落成。 10, 19 日・ソ国交回復 10, 羽島ダム完成。 12, 24 財政3ヶ年間再建団体指定受ける。 12, 白河信用金庫矢吹支店新築落成。	
1957	32	4, 矢吹ヶ原開拓農業協同組合設立する。 4, 白柳高遠線(国鉄バス)開通。 4, 国土調査事業開始。 8, 矢吹郵便局新築落成。 8, 1 詩誌『の』出版される。 10, 4 ソ連初の人工衛星。 11, 3 財政再建団体の指定解除。(2年間で完了) この年三城目白山に町営住宅5戸建設。	
1958	33	4, 1 税制改正。軽自動車税創設。(自動車・荷車・犬税廃止) 7, 「岩代文学」創刊(先崎金明主宰) 12, 1 1万円札発行。 12, 消防自動車2区に配置される。 12, 中畑中学校屋内運動場落成。 12, 時報のサイレンをオルゴールに切替えた。 12, 15 三城目大火。住宅18棟、非住宅15棟全焼。 この年稲荷釜に公営住宅建設。	
1959	34	3, 白河との電話直通となる。 3, NHK福島テレビ開局。 4, 新農村建設事業始める。 8, 第1回盆踊り大会開催される。	
1960	35	1, 10 中畑農業協同組合事務所落成。 2, 7 矢吹牛乳処理所開所式。 3, 30 東北本線白河・福島間電化開通(33年4月大宮―宇都宮間、34年5月22日宇都宮―黒磯間、34年7月黒磯―白河間開通) 4, 1 郡山・白河間4号国道開通式(昭和39年2月25日福島県内完工式) 5, 19 自民党単独で新安保条約と会期延長強行可決安保反対デモ激化。 9, 1 石川清津・松倉・泉崎間バス開通。 9, 10 カラーテレビ放送開始。 10, 1 10月1日現在の人口16,199人(男 7,886、女 8,313)世帯数 2,879戸 11, 1 三井三池争議妥結調印。 この年から美術展を町主催で行う。	
1961	36	1, 三神中学校屋内運動場落成。 3, 県南酪農組合連合会(三神・中畑・矢吹の各酪農組合を綜合する)創立。 3, 矢吹中学校々舎増築落成。 4, 12 ソ連人間衛星船打上げる。 4, 15 福島県方法務局矢吹出張所庁舎移転新築落成。 6, 1 矢吹救護院天風寮落成式開所。 6, 15 三神農協と三神中央農協が合併して三神農協となる。 9, 白河・福島間急行バス開通。 10, 1 東北線特急運行	
1962	37	1, 矢吹・三神間の電話即時通話。 3, 1 中畑農協労組結成。 3, 石川街道踏切遮断機設置。 3, 矢吹農協事務所落成。 4, 2 三城目大火。住家6棟、非住家9棟焼失。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1951	昭 和 26	3, 17	白河信用組合矢吹支所開業。	
		3.	西白河福祉事務所開設。	
		4. 1	琉球臨時中央政府設立。	三神村長 渡辺 欣 吾 (昭和26～30)
		4.	三城目阿武隈川堤防完成。	
		5.	東北電力㈱設立。東北電力白河営業所矢吹散宿所となる。	矢吹町長 大木 代 吉 (昭和26～28)
		6, 15	矢吹町母子寮開設される。	
		9, 8	サンフランシスコ講和条約調印。	
		10, 1	警察法改正。矢吹町警察署廃止され白河警察署矢吹警部派出所は存置。	
1952	27	2, 1	NHKテレビ本放送開始。	
		3, 5	スターリン首相死去。	
		3.	矢吹原耕地整理組合、矢吹農土地改良区連合会に組織費となる。	
		4, 28	対日講和条約発効。	
		5, 1	メーデー事件。	
		7, 4	破防法案可決。	
		7, 27	朝鮮休戦協定調印。	
		7, 26	中畑村国民健康保険直営診療所開所。	
		10, 29	第7回国民体育大会が福島県・宮城県・山形県の各会場で開かれる。	
		10.	矢吹町変電所運開される。	
		11.	中野目の川ノ目橋竣工。	
			この年各町村教育委員会発足。このころ水稻保温折衷苗代普及し始める。	
1953	28	2, 1	NHKテレビ放送開始。	
		3.	三神郵便局が電話交換業務始める。	
		4, 16	神田簡易郵便局開局。(昭和36年9月30日廃止)	
		7.	須賀川・神田・石川間バス開通。	
		8, 1	8月1日現在の中畑村人口 3,647(男 1,863, 女 1,785) 戸数 558戸	
		8, 7	町村合併促進法(10月1日施行)	
		8.	矢吹・神田・石川間バス開通。	矢吹町長 野木 忠 房 (昭和28～30)
		10, 1	10月1日現在の矢吹町人口 7,551(男 3,701, 女 3,850) 戸数 1,424戸	
		10.	三神村国民健康保険直営診療所開設。	
		11, 3	11月3日現在の三神村人口 3,713(男 1,765, 女 1,948) 戸数 528戸。	
		11.	福島県及び読売新聞社主催の新生活モデル町村として、大畑部落を選び総合第1位として表彰を受ける。	
		12, 1	ラジオ福島開局。	
			この年矢吹町幼稚園開設。三神役場及び明新地区に公民館を置く。平鉢・原宿・根宿・松倉・大畑の各地区に公民館を置く。矢吹と大和久に公民館を置く。この年冷害のため凶作。糠年版印刷の文芸誌『野』出版される。	
1954	29	3, 1	ビキニ水爆。第5福竜丸被爆。	
		3, 31	須賀川市制施行。	
		7, 1	防衛庁設置。	
		10, 13	中畑館の越横穴古墳発見される。(人骨・直刀など発見した)	
			この年矢吹が原土地改良区開設。三神村玉城橋かけかえ。三枚発田に町営住宅13戸建設される。(昭和32年に5戸建設)	
1955	30	3, 31	中畑村・三神村・矢吹町・広戸村の一部が合併して矢吹町となる。 国民健康保険給付開始。(5割給付)	矢吹町長職務執行者 渡辺 欣 吾 (昭和30.3.1～30.4.29)
		4, 18	A・A会議(バンドン宣言採択)。第1回町議会開会。	
		4, 30	町長選挙(合併初代町長選出される)	矢吹町合併初代町長 野木 忠 房 (昭和30.4.30～38)
			羽鳥ダム通水式。	
		8, 6	原水禁第1回世界大会。	
		8.	中畑地区アフタクァー(後保護指導所)開設。	
			矢吹町商工会発足。	
		10.	サークル「手の会」が詩誌『手』創刊。	
			10月1日現在の人口15,920(男 7,820, 女 8,100) 世帯数 2,661戸	
		11, 1	県立矢吹病院開設される。	
		12, 12	日本は国連加盟認められる。	
			この年大林に町営住宅15戸建設。30年～48年までに160戸建設される。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1945	20	12.17	婦人家政権獲得。	
		12.18	第一次農地改革 この年米の収穫大減収。	
1946	21	2.16	金融緊急措置令	
		2.25	新旧円の変換。	
		4. 1	県立矢吹公共職業補導所開所。	
		4.10	戦後初の(第22回衆議院)総選挙。	矢吹町長 大木 代 吉 (昭和21～22)
		5. 3	極東国際軍事裁判開廷	
		10. 1	第二次農地改革。	中畑村長 後藤 勝 (昭和21～30)
		11. 3	日本国新憲法公布。 この年羽島ダム工事始まる。	
1947	22	1.31	総司令部2.1セネスト中止命令出す。	
		2.	矢吹原耕地整理組合連合会の事務所新築落成。	
		4. 1	6.3制教育発足。	
		4. 5	戦後初の公道町長選	
		4.25	矢吹・中畑・三神の各中学校創立。	矢吹町長 仲西 正 次 (昭和22～26)
		4.	日本酪農講習所開所。	
		7.20	独占禁止法全面施行。	三神村長 浅川 和 茂 (昭和22～26)
		8.19	天皇陛下東北巡幸の際、矢吹に立寄られ修練農場・弥栄開墾地を視察された。 この年湯本村羽島地区より矢吹ヶ原に移転入植する。昭和22年～32年までに 20戸入植)	
1948	23	1.	警防団解散し各町村に消防団設置。	
		3. 7	地区警察・市町村警察設置に伴い白河地方警察署矢吹警部補派出所並びに自治警察矢吹町警察署が併置される。	
		3.	中畑村農協創立	
		4.	矢吹町農協創立	
		4.26	三神村中央農協創立。	
		5.25	大和久大火。13戸全焼。	
		6.22	三神村農協創立。	
		7.	矢吹中学校独立校舎に移る。	
		8.15	大韓民国成立宣言。	
		9. 9	朝鮮民主主義人民共和国成立。	
		9.23	中畑村公民館を置。各町村に公民館が設置される。	
		10. 8	大滝清雄、詩誌『竜』を創刊。	
		11.	矢吹農業改良指導所開所。(昭和33年に改良普及所と改称)	
		11.12	極東裁判判決。 この年狐石地区に12戸の開拓者入植する。	
1949	24	1.	矢吹松笠川柳社、月刊『まつかさ』創刊。	
		3.	三神中学校増築。	
		4. 1	白河市制施行。	
		4.10	県立白河第二高等学校矢吹分校開校(矢吹中学校内に)	
		7. 5	下山事件	
		10. 1	中華人民共和国成立。	
		10. 7	中畑中学校校舎新築落成。	
		11. 3	湯川秀樹氏ノーベル賞受賞。	
		12.	中畑稲荷釜に共済組合西白河支所第2家畜診療所開設。 この年羽島ダム工事本格的に始まる。矢吹町美術協会できる。	
1950	25	1. 1	満年令実施。	
		6. 1	矢吹町竹工芸品授産所開所。	
		6. 4	矢吹町6.4地行の参議院選挙において、投票率99.87%で全国第1位となり、 全国選管及び毎日新聞社より表彰・権を受ける。	
		6.25	朝鮮戦争起る。	
		7. 8	マッカーサー、警察予備隊創立を指令。	
		10. 1	10月1日現在矢吹町の人口7,356人(男 3,650, 女 3,706) 戸数1,465戸。	
		10. 8	矢吹町公民館建築竣工。	
		11.	三神村カッリンポンプ購入。 この年中畑村に始めて電話開通。『福島県詩人選集』発刊(大滝清雄編集)	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1939	昭 和 14	3. 1	各町村に警防団設立。	中畑村長 小針弥太郎 (昭和15~20)
		4.12	米穀配給統制法公布。	
		5.11	ノモンハン事件。	
		7. 8	国民徴用令公布。	
1940	15	2.22	矢吹原国民営開墾予算案が衆議院可決。3月15日貴族院可決通過する。	
		4.24	矢吹ヶ原開墾調査事務所開設。	
		5.10	米の供出始める。	
		7. 7	警沢禁止令出る。	
		9.11	隣組できる。(全国的に組織)	
		9.27	日・独・伊三国同盟調印。	
		10.12	大政翼賛会発足。	中畑村長 岡崎長一郎 (昭和20~21)
		11.10	皇紀2600年式典。	
		11.23	大日本産業報告会設立。	
			この年詩集「阿武隈便り」(大滝清雄)出版される。	
1941	16	2.12	NHK郡山・福島放送局開局。	
		4. 1	小学校を国民学校と改称。	
		6.23	三神村は岩瀬公立病院組合町村に加入。	
		7. 7	弥栄に乳牛30頭入れる。	
		7.23	大洪水。	
		11.13	矢吹を中心に「狐区設置運動」に反対する「徹」が配布された。	
		12. 8	日・米開戦。	三神村長 藤井英由 (昭和20~22)
			この年「狐区設置」に反対する隣組連署を以ての「陳情書」が当該町村から出された。 農林省白河・矢吹開拓建設事務所開所。大滝清雄は詩誌「虎座」を創刊する。	
1942	17	2. 1	衣料・味噌・醤油の切符制実施。	
		4.18	米軍機16機が日本初空襲。	
		6. 5	ミッドウェー海戦。	
		7.15	西白河地方事務所開所。	
1943	18	1.15	奇祭三城日水あび祭り(水祝) この年まで行われた。祭には近郷近在から数千の見物人でにぎわった。	
		2. 7	矢吹銀行・東邦銀行に吸収合併される。	
		6.19	県立矢吹ヶ原修練農場に県立勤労訓練所併置される。	
		10.21	学徒出陣。	
		11. 7	弥栄産業組合は中畑産業組合に合併。	三神村長 藤井英由 (昭和20~22)
1944	19	1.26	東京・名古屋に疎開命令。	
		4.18	金属回収実施。	
		4. 7	産業組合を農業会と改称。	
		5. 7	学校工場化	
		8.23	緊急国民勤労動員令。	
		8. 7	大都市学童疎開。	
		10. 7	白河保健所開所。	
		11.29	米軍機B29が東京初空襲。この年矢吹耕地整理組合連合会発足。町立白河 商業は白河農学校と名称変更。	
1945	20	1.13	東海地方大地震。	
		1. 7	本土都市連続空襲始まる。	三神村長 藤井英由 (昭和20~22)
		4. 7	郡山の工場がB29の空襲を受ける。	
		5.11	矢吹ヶ原飛行場空襲を受ける。	
		7.17	ボツダム会談。	
		8. 6	広島に原爆投下。	
		8. 9	矢吹ヶ原飛行場空襲を受ける。長崎に原爆投下。	
		8.14	日本敗戦。	
		8.22	米占領軍日本に進駐。	
		11. 7	「緊急開拓実施要領」が決定され、矢吹ヶ原開拓始まる。	
		11.15	矢吹ヶ原飛行場跡・北善郷内に開拓者入植する。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1930	昭 和 5	4, 22	ロンドン軍縮会議調印	矢吹町長 仲西三良 (昭和5-20)
		9,	米価大暴落	
		12,	月刊『いとし子』発刊。	
1931	6	3, 8	この年本村・平鉢間の道路、泉橋改修。補習学校は実業公民学校と改称。 矢吹国営猟区三神・中畑・清津3村営猟区入猟者及び猟区関係者をもって「矢吹会」を組織。事務所を東京市(日本競馬店・内山競馬店内)に置き、支所を矢吹町今出屋、筑前屋・古川屋の旅館内に置いた。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		9, 18	満洲事変起る。	
			この年中畑村の折橋改修。亥ノ子橋・貫木橋かけかえる。	
1932	7	3, 1	国産トーカーできる。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		4, 25	満洲国建国宣言発表。	
		5, 15	中畑農事実行組合発足。	
		7, 1	5.15事件。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		9,	三神郵便取扱所が三神郵便局となる。	
			須賀川銀行解散。	
1933	8	3, 3	この年矢吹町が昭和7年度経済更生指定町に指定される。中畑村・三文橋改修。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		3, 27	三陸地方大地震、大津波。	
		10, 20	日本は国際連盟脱退通告。	
1934	9	6, 4	中畑村満川橋改修、浅井名池・夏張池・中窪池改修。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		9, 21	この年三神村が昭和8年度経済更生指定町に指定される。	
			矢吹町が岩瀬公立病院組合町村に加入。	
1935	10	11, 4	室戸台風	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		12, 1	雄子塚(矢吹町大池地内)除幕式。	
		12, 4	福島県立修練農場設置(昭和18, 4, 矢吹原修練農場、昭和25, 4, 矢吹原経営伝習農場と改称)	
1936	11	2, 26	水戸・郡山間鉄道(水郡線)開通。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		3, 16	矢吹ヶ原御料林地宮内省より福島県に払下げとなる。(開墾のため2,344ヘクタール)	
		3, 28	矢吹ヶ原御料林地宮内省より福島県に払下げとなる。(開墾のため2,344ヘクタール)	
1937	12	3, 16	美濃部達吉氏「天皇機関説」で告発される。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		3, 16	ドイツ再軍備を宣言。	
		3,	松倉・大畑・長峰郷会設置。	
1938	13	4, 1	矢吹・中畑・三神に青年学校発足(昭和15年4月1日より義務制)	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		10, 1	俳句土筆会結成。月刊『土筆』創刊。	
		10,	原宿にガソリンポンプ配置。	
1939	14	2, 26	この年矢吹町に貸座敷2軒、娼妓7人(廃業したもの3人)。風俗営業=料理屋9軒、飲食店7軒、芸妓置屋1軒、カフェー2軒(女給1人、酌婦2人)「風俗関係各種営業者数しらべ」より	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		2, 26	2.26事件。	
		3, 26	矢吹原の県有地の一部開発のため県営開墾地開発事業として継続的に施行される。	
1940	15	3,	茨城街道改修(三文橋から中畑小学校間)。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		9, 11	第1回防空演習行われる。	
		9, 29	弥栄産業組合設立認可される。	
1941	16	10, 23	八幡原県営開墾地に78戸入植。家族も移住。弥栄部落できる。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		12, 1	中畑産業組合倉庫完成。	
		3, 12	弥栄開拓(中畑の柏山、三神の三城目などに30戸入植)。	
1942	17	4, 5	中畑村は岩瀬公立病院組合町村に加入。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		5-23	矢吹ヶ原陸軍飛行場(熊ヶ谷飛行学校矢吹分校)開場式。	
		7, 7	蘆溝橋事件。	
1943	18	11, 6	日・独・伊・三国防共協定調印。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		11, 20	大本営設置。	
			この年中畑産業組合事務所新築される。	
1944	19	1, 10	各町村に防務団誕生。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
		4, 1	中畑村弥栄を稲荷蓋区とする。国家総動員法公布。	
		5, 14-15	霜害により畑作物大被害。	
1945	20		中畑郵便局開局。	中畑村長 蛭田三之丞 (昭和7-15)
			小田川村外4ヶ村(川崎・中畑・清津・関平)水利組合。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1917	大 正 6	6. 1	三神実業補習学校を三城目・須乗・明新に置く。	
		10.10	磐越東線全通。	
		10.	三城目に初めて電灯がつく。	
		11. 7	ロシア革命。ソビエト政権樹立。	
1918		8.	柳須賀川銀行矢吹支店開業。	三神村長 渡辺金蔵 (大正7~11)
		8.	富山で米騒動。全国各地に波及。この年郡山に初めてトラック出現。	
1919	8	6.28	ベルサイユ講和条約調印。	中畑村長 岡崎長一郎 (大正7~昭和2)
		8. 1	有限責任矢吹信用購買組合創立。	矢吹町長 丸野実行 (大正7~11)
		8.	須賀川実科女学校開校。	
		10.	寺内・平鉄間道路改修記念碑が建てられる。	
1920	9	1.10	国際連盟発足。	
		7.30	矢吹町処女会発会。	
			この年白河警察署矢吹分署設立される。須賀川町立商業学校開校。	
			このころ冬期(毎年11月~翌5月まで)薪・木炭等の運搬に従事する農民の荷馬車、日々100台を数えた(「矢吹町大正9年の記録」より)	
1921	10	1.13	中畑耕地整理組合設立	
		6. 6	合資会社公衆館の建設許可され、7月開館し一区女子青年会など出演して納涼演芸会開かれる。	
		7.18	矢吹銀行開業	
1922	11		この年大畑に初めて電灯つく。中畑処女会発会。県立白河中学校開校。	三神村長 内谷善助 (大正11~15)
1923	12		この年柿之内に初めて電灯つく	
		9. 1	関東大震災。この年県立白河高等学校開校。	矢吹町長 武藤一策 (大正11~昭和5)
1924	13	2.11	矢吹郵便局電話開設	
		4.	郡山専売局須賀川支所矢吹取扱所設置	
		5.13	濃霧害被害大	
		7. 1	メートル法使用始める。	
		8.13	鶴沼川疎水発起人会及び矢吹・原開墾期成同盟会結成される。	
		9. 1	郡山市制施行。この年松倉に初めて電灯つく。	
1925	14	4.20	中畑村役場新築	
		4.22	治安維持法公布	
		5.22	普通選挙法公布	
		7.22	東京放送局からラジオ放送開始	
			この年全国少年野球福島大会に中畑チーム優勝する。	
1926	15	7. 1	矢吹・三神・中畑に青年訓練所設置。(昭和10年廃止)	三神村長 酒井寅三郎 (大正15~昭和20)
		11. 1	矢吹国営猟区事務所設立	
	昭 和 1	12.25	大正天皇死去。昭和と改元。	
1927	2	4.28	矢吹合同運送機発足	
		5. 8	矢吹町処女会を女子青年団と改称	中畑村長 青木運六郎 (昭和2~6)
			この年白河商業学校開校。郡山に円タクが現われる。	
1928	3	2.20	第1回普通選挙	
		2. 1	三神郵便局取扱所開設	
		3.15	3.15事件。共産党員大量検挙。	
		4.	矢吹銀行駅前通り角に鉄筋コンクリート建竣工。	
		4.22	中畑村処女会を女子青年団と改称。	
		5.	矢吹少年赤十字団誕生。	
		9.23	東京朝日新聞社が県南訪問飛行を行い矢吹原に着陸し一般に観覧させた。	
		10.	「矢吹教育時報」発刊	
1929	4	4. 1	中畑小学校講堂新築。校舎増築。	
		8.19	世界一周飛行船ツェッペリン号霞ヶ浦に着陸する。	
		10.24	世界恐慌始まる。	
			このころ乗合自動車白河方面行(築前屋旅館前発)、棚倉方面行(とみや旅館前発)、須賀川方面行(中村屋前発)、上小屋方面行(つたや旅館前発)があった。何れも2時間毎発した。又、トラック便(棚倉方面行)があった。(「矢吹町郷土読本」から)	
			大滝清雄(三神村)「鷹巣詩人」出版。三神村・三城目青年団が文芸部をつくり文芸誌「土の香」を毎月発行する。(昭和15~16年ごろまで継続された。)	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1881	明 治 14	8, 10, 12.	明治天皇東北巡幸、矢吹村に小休。矢吹ヶ原土地の未開地は御用地に編入。 国会開設の詔勅。自由党結党。 自由党福島部結成。	
1882		15	矢吹村の諸根民治こんにやくを初めて栽培。	
		11.	福島事件	
1883		16	2. 柿之内村を除く矢吹の村々は15ヶ村戸長役場の所轄となる。 4. 柿之内村は白子村9ヶ村戸長役場の所轄となる。 矢吹ヶ原430町歩が宮内省管轄の御料地に編入。	
1884		17	5. 群馬事件 9. 加波山事件 10. 自由党解党	
1885		18	2. 大和久村の星吉衛門は湯本村羽鳥部落にダムを造り水を引く計画書を県知事に提出。 3 矢吹村大和久で大火。33戸焼失。 9. 矢吹郵便局が郵便貯金取扱開始。	
1886		19	5. 明岡村と明岡新田村が合併して明新村となる。	
1887		20	7. 矢吹駅開設。東北本線黒磯―郡山開通。	
1888		21	6. 町村制施行について訓令を内示。	
		7.	磐梯山噴火	
1889		22	2. 大日本帝国憲法発布 4. 矢吹・中畑新田・大和久の3村が合併して矢吹村となる。三城目・須乗・神田・堤・中野目・明新の6村が合併して三神村となる。中畑・大畑・松倉の3村が合併して中畑村となる。 矢吹ヶ原御料地南岸に宮内省の岩瀬御猟場を設置。	矢吹村長 緑 川 重 世 (明治22~24) 中畑村長 遠藤七兵衛 (明治22~26) 三神村長 矢部 昌 雄 (明治22~30)
1890		23	矢吹村に馬騾場開設	
		8.	大洪水	
		10.	教育勅語発布 この年第1回総選挙実施。	
1891		24	9. 東北線全通。矢吹御猟場設置。	矢吹村長 山 本 重 承 (明治24~27)
1893		26	6. 矢吹郵便局で小包業務開始。	中畑村長 岡崎長次郎 (明治26~30)
1894		27	8. 日清戦争起る。この年西白河産馬組合設立。矢吹村に消防組できる。	矢吹村長 大 谷 如 房 (明治27~36)
1896		29	4. 郡山に農事試験所開所。 矢吹村に登記所開所	中畑村長 井戸沼太郎 (明治30~32)
1897		30	1. 矢吹村に矢吹製糸会社創業 11. 西白河郡会創設。労働組合期成会結成。	三神村長 佐久間国亮 (明治30~35)
1898		31	中央政界揺れ、諸党派の活動活発。ストライキ続発。	中畑村長 遠藤重三郎 (明治32~34)
1899		32	2. 矢吹村の矢吹平次ら『知識の戦場』を刊行。	中畑村長 遠藤重三郎 (明治32~34)
1900		33	治安警察法公布	中畑村長 遠藤重三郎 (明治34~37)
		6.	北清事変	三神村長 酒井寅三郎 (明治35~40)
1901		34	愛国婦人会結成	初代矢吹町長 大 谷 如 房 (明治36~大正3)
1902		35	日英同盟	中畑村長 蛭田吉之助 (明治37~41)
1903		36	12. 矢吹村が町村制を施き矢吹町となる。この年教科書が国定となる。	三神村長 加藤為三郎 (明治40~42)
1904		37	2. 日露戦争	中畑村長 岡崎金太郎 (明治42~大正2)
1905		38	2. 矢吹町補習学校開校。 須賀川電気会社発足	三神村長 遠藤勇三 (明治42~大正3)
1907		40	4. 三神補習学校開設。私立石川中学校開校。この年須賀川町立商業補習学校開設。	
1908		41	2. 有限責任大和久信用購買販売組合設立。 11. 中畑補習学校開設。青年団発会。この年西白河郡立農学校開校。明治42年合併して、須賀川町に岩瀬郡立農学校開校。	
1911		44	11. 矢吹に初めて電灯がつく。	
1912	大 正 1	8.	白河実業銀行矢吹支店開業。	
1913		2.	2. 中畑信用購買販売組合設立。 3. 三神信用購買販売組合設立。	大 正 時 代
1914		3	白河実科高等女学校開校。ドイツに宣戦(第一次世界大戦)	中畑村長 高 久 鐵 造 (大正2~3)
1915		4	11. 宮内庁御猟場職員集会所記念碑を建立。 中畑村大字中畑に初めて電灯がつく。矢吹郵便局で電信業務を始める。	三神村長 太田 貞 造 (大正3~7)
1916		5	6. 白樺鉄道開通。 9. 1 工場法施行	中畑村長 加藤 延 成 (大正3~7) 矢吹町長 武 藤 一 葉 (大正3~7)

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1867	慶 応 3	12.	大政復古	明 治 時 代
1868	明 治 1	3.	五ヶ条の誓文。五榜の掲示。	
		4.	江戸入城。矢吹・矢吹新田・中畑新田・大和久・柿之内・松倉・松倉新田・中畑・三城目・三城目新田・堤・明岡・明岡新田・須乗・須乗新田の各村は佐久山藩白河民政取締所の管轄となり、大畑・中野目・神田は伊達陸奥守の所領となる。	
		4.	会津藩白河を占拠。■4月25日より白河口の戦い。	
		5.	白河城落城。白河城下兵火のため焼失。攻防激化。	
		6.	矢吹信兵火で焼失。棚倉城落城。大畑・堤・中野目の各村は黒羽藩浅川陣屋支配となる。	
		7.	江戸を東京とする。	
		9.	明治と改元。一世一元制とする。会津若松城落城。	
		11.	白河・石川・岩瀬3郡村役人一同は年貢減免・軍役労役負担軽減などで民政取締所へ祈願。	
		12.	陸奥国を陸奥・陸中・陸前・岩代・磐城に分国。白坂宿役人宅を農民が襲撃。	
1869		2	2.	
		6.	大畑・中野目・神田を除く矢吹の村々は守山藩民政取締所の管轄となる。	
		8.	版籍奉還	
		12.	矢吹の村々が白河県管轄となる。	
1870		3	この年凶作。年貢米免除献願書を出す。	明 治 時 代
1871		4	7.	
		1.	中畑陣屋を引払う。	
		4.	白川県基効法布告。	
		11.	戸籍法定める。	
		4.	矢吹・矢吹新田・中畑・中畑新田・大畑・堤・中野目・神田・明岡・明岡新田の各村は平県となる。大和久・柿之内・松倉・松倉新田・三城目・三城目新田・須乗・須乗新田の各村は二本松県の管轄となり白川県を廃す。	
		5.	平県は磐前県。二本松県は福島県となる。	
1872		4.	大区・小区制を制定。矢吹・矢吹新田・中畑・中畑新田・大畑・堤・中野目・神田・明岡・明岡新田の各村は磐前県第5大区第10小区(川辺区会所)。大和久・三城目・三城目新田・須乗・須乗新田の各村は福島県第6大区第1小区(中新城区会所)柿之内村は福島県第5大区第5小区。松倉・松倉新田村は福島県第6大区第2小区(蕨内区会所)の管轄となる。庄屋・名主・年寄を廃し戸長をおく。	
		7.	矢吹郵便取扱所開設。	
		8.	学制を定める。	
		11.	太陽暦を廃止し太陽暦を採用する。	
1873		6	1.	
		6.	中野目村と三城目村に小学校設立。	
		7.	矢吹村大福寺の一部に小学校設立。この年地租改正に着手。	
1874		1.	柿之内村は福島県第11区(須賀川区会所)。大和久・松倉・松倉新田・三城目・三城目新田・須乗・須乗新田の各村は福島県第13区(小田川区会所)。矢吹・矢吹新田・中畑・中畑新田・大畑・堤・中野目・神田・明岡・明岡新田の各村は磐前県第18区第7小区(石川区会所)に編入。各村に用掛と什長をおく。	
		9.	中畑小学校創立(澄江寺の一部に)。	
		8.	中畑に郵便取扱所設置。白河・岩瀬・安積・安達4郡に産馬会社設立。白河電信局で電信開始。	
1875		8.	石川に石陽社結成。	
		11.	郡界変更。石川郡の明岡・明岡新田・中野目・堤・大畑・中畑・中畑新田・矢吹の各村が白川郡に編入。	
		12.	矢吹の各村々は福島県第9区に編入され、矢吹村に区会所設置。区会長高松嘉積。	
1876		9	6.	
		8.	明治天皇東北巡幸のため矢吹村に駐蹕昼食。12ヶ村が合併して白河町となる。松倉村と松倉新田村が合併して松倉村となる。	
		10.	福島県・磐前県・若松県が合併して福島県となる。	
1877		1.	釜ヶ入・八幡原開墾始まる。	
		3.	地租軽減なる。	
		4.	三城目村と三城目新田村が合併して三城目村となる。須乗村と須乗新田村が合併して須乗村となる。矢吹村と矢吹新田村が合併して矢吹村となる。	
		11.	三春に三師社創立。	
1878		1.	民会規則公布。中畑の小針七左衛門議員となる。	
1879		12	1.	
		2.	区制を廃止して郡村制を復活。町村に戸長・用係をおく。白川郡は西白河・東白川の2郡に分かれ、区会所廃止。	
		13.	白河警察署矢吹分署開設。	
1880		1.	府県会規則による第1回県会議員選挙が行われる。中畑の岡崎長次郎議員となる。	
		2.	鏡石村に宮内庁御開墾所できる。本県に初めて馬耕機が入る。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1799	寛 政	11	1.	白河藩「御百姓心得方申聞書」を出し、農業出精・子女の養育・節検・樹木栽培などを勧める。
1800		12	1.	松平定信の命により『集古十種』成る。
1801	享 和	1		南湖公園なる。
1805	文 化	2		広瀬典「白河風土記」成る。
1809		6	2.	白河町火災。
			3.	須乗・須乗新田・大和久・神田・堤・中野目・大畑・中畑の各村が幕府領となり釜子陣屋の支配を受ける。
1810		7	3.	釜子陣屋越後高田領となり3万3000石を支配。
1811		8	12.	寺西重次郎、堀代官所で民風改善近領諸藩の会議を主宰し、俵約を勵行させるため「十禁の制」を定める。
1812		9	4.	松平定信隠退し東翁を号す。
1814		11		『奥州白河風俗問状答』できる。
1815		12	4.	堀寺西代官県内諸藩と農村振興の会合。
1817		14	4.	堀寺西代官諸藩会議を開き、風俗改善の申合せ。
1818	文 政	1	7.	幕府再び房総沿岸警備を命ず。
			12.	広瀬典「白河古事考」成る。
1820		3		釜子陣屋領が幕府直轄領となり、浅川陣屋の支配を受ける。
1823		6		白河藩主松平定永桑名に移り阿部正権となる。
			9.	中畑澄江寺吊鐘ができる。
			12.	中畑澄江寺松門落成。
1824		7		矢吹宿の大半が焼失(約七割)。
1827		10	8.	中畑庄屋小針周平・高田庄屋鈴木庄吾の商人白河・石川・田村の3郡85村の惣代として老中大久保忠真へ駕籠訴に及ぶ。
1829		12	5.	松平定信桑名で死去。
1832	天 保	3		この年不作。
1833		4		この年から天保8年ころまで飢饉続く。
1836		7	1.	白河藩岩瀬郡の百姓逃散。
1837		8	1.	幕領浅川5万石は分割され、中畑・大畑・堤・中野目・神田・中野・川辺の7村5000石は旗本松平軍次郎知行所となり、陣屋が中畑村におかれる。
			5.	須乗・須乗新田・大和久の各村は幕府領堀代陣屋付となる。
				白河藩貸馬の制を定める。
1841		12	8.	堀領久慈川通船許可。
1849	嘉 永	1	2.	矢吹村に半鐘できる。
1850		3		大和久村市右衛門・明岡村茂平・三春町造作の3名、堀代官所より阿武隈川の通船を許可される。
1851		4	2.	矢吹村の町割り。この年白河の馬市が春市となる。
1854	安 政	1	2.	白河藩領内村々に海防費用賦課。 矢吹大福寺で寄付により般若経などを備える。
1855		2	7.	中畑と泉崎との境界争い。
			10.	夜大地震あり土蔵の壁落る。
				この年安政大地震あり。大福寺経堂建てる。「すべて心得覺悟」かかれる。
1857		4	9.	矢吹村16戸28世帯焼ける。
1858			6	隈戸川洪水。水車小屋4軒流される。
				日米修好通商条約結ばれる。
1860	万 延	1	2.	オロシヤ人が矢吹を通る。
			6.	矢吹神社24間で神輿をつくる。
			12.	増見村助郷免除除願
1862	文 久	2	8.	白河藩主阿部正外外国奉行となる。この年坂下門外の変起る。
1864	元 治	1	2.	大畑・神田・中野目の各村は幕府領浅川陣屋の支配下となる。 水戸天狗騒動
1865	慶 応	1		東白川地方こんにやく騒動。
1867		3	1.	白河藩主阿部正静榎倉へ移封。白河領は一時幕府領、後二本松藩で管理。
			8.	矢吹・矢吹新田・中畑新田・柿之内・松倉・松倉新田・三城目・三城目新田・明岡・明岡新田の各村は幕領小名浜陣屋の支配となる。大和久・須乗・須乗新田の各村は堀代陣屋支配。中畑・堤は中畑陣屋支配。大畑・神田・中野目は幕府領浅川陣屋支配。
			10.	太政奉還

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1605		10	幸福寺を中畑新田に自伝法印が開基。	江 戸 時 代
1608		13	中畑新田に中畑村より八幡神社を勧請。	
1620	元 和	6	蒲生秀行が新田開発の条目を出す。開墾奉行岩瀬権太夫。	
1627	寛 永	4	会津藩生家廃絶し矢吹の村々は白河藩領となり丹羽長重の支配となる。 関街道(伊王野～篠宿)を改めて奥州街道(芦野～白坂)を開く。	
1633		10	矢吹新田村開かれる。	
1635		12	幕府が武家諸法度を改正し参勤交代の期日を定める。	
1636		13	伊達政宗が江戸に上る途中、この日「矢吹ヶ原」で慰みに鷹狩りを行う (治家記録)。	
1649	慶 安	2	慶安御触書。	
1651		4	柿之内村が高林村より分村。幕令により全国的に検地実施。	
1652	承 応	1	山王寺を大和久に建立。	
1660	万 治	3	慈眼寺が神田に慈眼大師により開基。	
1679	延 宝	7	この年本多氏(白河藩)縄引の制を始める。	
1681	天 和	1	白河領内惣百姓が本多領主の悪政に対し訴願(207人連名)。	
1684	貞 享	1	矢吹神社御霊宮勧請。	
1689		2	松尾芭蕉矢吹に一泊。(『奥の細道』曾良随行日記)	
1712	正 徳	2	中畑村縄引廃止。荒地開発に付訴願。	
1714		4	幸福寺の地藏尊が中畑新田に建てられる。	
1715		5	澄江寺の地藏尊が三城目に建てられる。	
1720	享 保	5	白河惣百姓一揆落着。土岐派罷免。一揆側犠牲者なし。	
1726		11	享保検地	
1732		17	大和久村外街道筋村々百姓が助郷の組返退を要求し徒党・直訴。頭取7日 間さしらし過科。庄屋閉門。この年11代將軍吉宗全国の人口調査命ずる。	
1734		19	享保大飢饉	
1735		20	この年白河藩作物不作。藩札発行のため物価騰貴。	
1735		10	根宿大火。36軒焼失。	
1737	元 文	2	白河馬市始まる。	
1741	寛 保	1	日吉神社大和久に勧請。	
1742		2	4	
			須乗・須乗新田・大和久・神田・堤・中野目・大畑・中畑の各村々が越後 高田藩領となる。この外の村々は従前のとおり白河藩領。 白河藩惣百姓代表庄屋が百姓の窮状を訴える。願書を持参し江戸に越訴。 高田藩領御原条目。	
1748	寛 延	1	5, 11, 住吉神社が堤に勧請。	
1749		2	7, 八幡神社(中畑)本殿造営。矢吹新田に地藏尊に建てられる。	
1752	宝 暦	2	7, 高田藩領縄引	
1767	明 和	4	9, 住吉神社大畑に勧請。	
1770		7	4, 高田藩が徒党・強訴の禁制を掲げる。	
1773	安 永	2	安永の定め書。(白河藩)	
1783	天 明	3	10, 松平定信白河藩主となる。質素倹約令を出す。この年奥羽大飢饉。白河藩は 摂津より米6950俵を買い、飛騨越後より1万俵を陸送して領民を助ける。 この年諸国飢饉。特に奥羽甚しい。 白河藩で子供5人以上養育した者に手当を支給する令を出す。 この年奥羽飢饉。	
1784		4	白河町大火。町家の過半を焼く。	
1787		7	6, 白河藩主松平定信幕府老中となる。米価高騰。各地に打ちこわし起る。	
1788		8	3, 松平定信將軍補佐役となる。	
1789	寛 政	1	幕府5ヶ年間倹約令を発する。	
1790		2	老中松平定信異学を禁ずる。	
1791		3	米価下落のため困米を奨励する。	
1792		4	浅川福貴作村に生活困窮のため愁訴起る。	
1793		5	松平定信老中を辞す。	
1794		6	1, 白川郡に暴動起る。	
1796		8	白河藩御膳を開き、青物市場を設ける。 この年より白河藩領内の街道に松並木2305本を植える。	
1797		9	幕府外国船漂着の処置を諸大名に指令する。	
1798		10	1, 浅川騒動起る。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1351	観 応 正 平	2 5 6	石川中畠孫四郎が北朝方から出陣命令を受ける。建武新政の一時期結城白川氏に与えられた中畠村は、ふたたび石川一族の手に入る(川辺八幡文書)。	
1352	文 和 正 平	1 7	4. 結城朝常・石川兼光らが北畠顕信らの軍と安積郡佐々河で戦い、ついで7月田村庄柄久野原矢柄で戦う(白川文書、殿野文書)。 4, 13 吉良貞家・板橋高光のために石川庄・千石・板橋岡村・川辺八幡宮領下河辺村・沢尻村など安堵の下文を請う。ついで尊氏これを安堵する。(板橋文書) 8, 3 尊氏が板橋高光に石河庄千石村・板橋村と八幡宮領下河辺村・急当村・沢尻村など安堵する。(板橋文書)	
1363	貞 治 正 平	2 18	7, 23 長沼宗秀が石橋宗義に従い石河庄行方野に戦う。(皆川文書)	
1367	貞 治 正 平	6 22	7, 4 幕府が石川庄大畠村を河辺八幡社に寄進する。(石河真砂集) 長沼淡路五郎らが石河庄行方野(矢吹ヶ原)に南党と戦う。ついで幕府その功を賞す。(結城小峰文書・白川古事考)	
1374	応 安 中 3	7	本城館供養石塔が三城目に建てられる。	
1376	永 和 天 授	2 2	天王山供養石塔が中畑に建てられる。	
1399	応 永	6	この春足利満兼が弟満直・満貞を奥州笹川稲村に遣わして、陸奥出羽両国をおさめさせる。(鎌倉大草紙・余目記録)	室 町 時 代
1404		11	7. 仙道の諸将が一揆を結ぶ。(結城文書写)	
1426		33	本城館供養石塔が三城目に建てられる。	
1468	応 仁	2 10, 22	宗祇が東遊して白河関に至り百韻連歌を賦す。(白河紀行)	
1481	文 明	13 3, 23	結城白河政朝が鹿島神社に一日1万句の連歌の会を催す。(結城文書・白河風土記)	
1509	永 正	6	長徳寺柿之内に草創と伝える。	
1534	天 文	3	石川・岩瀬・蘆名・伊達四氏が岩城・白河両氏と戦う。(塔寺八幡長帳)	
1556	弘 治	2 3,	中畠晴辰が白河晴綱に花見をすめ桜ヶ岡(白河)で花見の宴を開く。この年二階堂照行の軍が新城に侵入したのを白川氏の軍が撃退する。(野史)	
1559	永 祿	2	この年白川軍が新城を陥落させて須賀川に迫る。(野史)	
1564		7	中畠晴辰が中畑に澄江寺を建立。	
1570	元 龜	1	元龜年間(1570〜72)須賀村・三城目村が石川郡より白河郡に編入。	
1574	天 正	2	景政寺が三城目に開基中興、円海和尚	
1575		3 7, 17	佐竹義重が船尾山城に赤館の替として清津を宛行う。(秋田採集文書)	
1578		6	この年矢吹宿が開設される。	
1583		11	中畠晴辰が三城目に館を構え三城目に澄江寺を建立。	
1588		16	中畠晴辰は泉崎の辺見伊賀守の居城を乗取る。	
1589		17	このころ矢吹薩摩守が須賀川城の城代となる。(陸奥国白河関物語)	
		7, 26	白川義親が伊達政宗に服属する。(白川文書)	安土桃山時代
		11, 4	石川昭光が伊達政宗に服属する。この日政宗これに誓詞を与える。(石川文書)	
		12, 27	伊達政宗が白川氏のことについての書状を出す。(景政寺文書)	
1590		18 8, 6	豊臣秀吉が白河に着く。翌日長沼に進む。(政宗事績考記)	
		8, 9	秀吉会津黒川城に入る。ついで石川昭光・白川義親らの小田原不参を責め領地を没収する。伊勢松坂の蒲生氏郷を会津黒川城に移し会津・白河・石川・岩瀬・安積の諸部を支配させる。矢吹の村々も会津領となる。	
		8,	石川大和守昭光が豊臣秀吉より領地を没収され、のち志田郡松山を経て伊具郡角田に移住し、家臣矢吹袖ヶ館主矢吹重兵衛もこれに随って角田に移る。	
		8, 12	秀吉が豊臣秀次に会津を宇喜多秀家に白河近傍を檢地させ浅野長政に檢地以下の事柄を指示させる。(浅野家文書) 領主白川義親は豊臣秀吉より領地没収されたため富城奥原原田貢坂村に住み伊達家の一門に列す。その家臣須兼物見館主小針大和守頼広は民間に下り中畑に住す。	
		8, 18	白川義親が豊臣秀吉より領地を没収されたため、三城目タカナン館主中畠晴辰は半人となり、旧縁をたよって相馬方面に赴く途中郡山附近の行合村にて土民に襲われ殺された。	
		11, 19	晴辰の弟晴時討死。三城目の墓地に中畠晴辰の五輪塔がある。このころ矢吹宿に町割が行われた。	
1591		19	前年からこの年にかけて会津領はじめ奥羽諸郡に檢地施行。	
1594	文 祿	3	この年氏郷が領内を檢地。(蒲生領高目録)	
1596	慶 長	1	中畑新田村開かれる。(渡辺家文書)	
1598		7,	原宿の正福寺が中畑に開山。	
1602	慶 長	7	会津城主蒲生秀行が領内の収納に関する17条を出す。	

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
1031	長 元 4	4.	長重・常吉が矢吹大池南に三光稻荷大明神を勧請したと伝える。 陸奥国をして絹一疋をもって砂金一両に代納させる。(小右記)	
1051	永 承 6		この年安倍頼時反す。陸奥守藤原登任らがこれを討つも勝てず源頼義を陸奥守に任じてこれを追討させる。前九年の役(陸奥話記)	
1052		7	この年石川頼通・有光が源頼義に縦い奥州に下り前九年役に戦う。 (石川一千年史)	
1057	天 喜 5		源頼義・安倍頼時を誅す。(百練抄)	
1062	康 平 5	8, 17	源頼義出羽の叢族清原武則の援を得て安倍貞任の弟宗任を小松櫓に破る。 (陸奥話記)	
		9, 5	貞任が頼義のため敗れ衣川に逃れ厨川櫓に拠る。	
		9, 17	頼義が貞任を誅し宗任を降す。前九年の役終る。(陸奥話記)この年源義家 安倍貞任と松倉阿部々沢で戦い、これを破り屍骸を唐羅塚に葬る。(矢吹の おいたち) 康平年中に矢吹の牛頭天王社(滝八幡)源義家凱陣の折、祠の屋根 を矢柄で葺いて建立。「矢葺」の地名起ると伝える。中畑の八幡神社・松倉 の近津神社勧請と伝える。	
1063		6	2, 27 貞任討伐の論功行賞を行う。石川有光が源頼義より仙道7郡(石川・白川・ 岩瀬・安積・田村・信夫・安達)とえられ白河関を守ると伝える。この年石川 有光白河郡藤田郷に住しその後石川泉庄に三戸城を築き入城(石川一千年史) 矢吹の地域も石川氏の支配下に入る。	
1083	永 保 3		この年清原家衡と清原真衡が争い後三年の役はじまる。(奥羽後三年記)	
1087	寛 治 1	12, 26	源義家出羽国金沢砦を攻めし清原武衡・家衡ら追討を報じ後三年の役終る。 (中右記) 寛治年間、明新館山に観音堂建立と伝える。	
1126	大 治 1	3, 24	藤原清衡が陸奥岩井郡に中尊寺を建立(中尊寺経蔵文書)。このころ白河から 外へ浜まで一町ごと笠塔婆(一町仏)が建てられたと伝える。	
1143	康 治 2		御雲宮(村岡小五郎忠通朝臣の霊)祀られる。その後鎌倉権五郎景政、竹貫 鐵道の城主となり御雲宮を三城目の郷に移し南台山に勧請したといわれる。 この春、西行法師旅立ち秋に白河関を越え平泉に赴く。	
		11.	石川岩法寺に石川基光の五輪塔が建てられる。	
1187	文 治 3		源義経が伊勢・美濃を経て奥州に下る(吾妻鏡)。	
1189		5	7, 19 源頼朝が奥州征伐のため鎌倉を出発(吾妻鏡)。 9, 20 頼朝が諸将に奥州の所領宛行(吾妻鏡)。結城朝光に白河を賜わると伝える (仙道遺稿)。	
1209	承 元 3	11, 13	石川光盛が嫡子光安に坂地・千石・富沢・谷沢・都賀・河部・給当(三城目) 境・通谷9村を譲る(赤坂文書)。このころ矢吹の大部分の地域が石川氏の 支配下に入る。	鎌倉時代
1236	嘉 禎 2	6, 26	景政寺仮名書供養石塔が三城目に建てられる(集古十種)。	
1261	弘 長 1	8, 22	寺内阿弥陀堂供養石塔が中畑に建てられる。	
1264	文 永 1		(弘長4年)明新観音堂供養石塔が明新に建てられる。	
1277	建 治 3		この秋一遍上人陸奥を巡る(白河風土記)	
1288	正 応 1		このころ鎌瀬唐崖供養塔群(五百羅漢)つくられた。(泉時村)	
1289		2	この年結城弥七左衛門尉祐広が白河城を築くと伝える(北条九代記)	
1293	永 仁 1		永仁年間(1293-98)松倉宝蔵院開基という。	
1305	嘉 元 3		塚原供養石塔が中野目に建てられる。	
1316	正 和 5		行屋供養石塔が三城目に建てられる。	
1318	文 保 2		結城盛広が富沢・真角・素太などの10ヵ村と合せて大和久を所領として いた(結城文書)。	
1321	元 享 1		大畑供養石塔が大畑に建てられる。	
1327	嘉 暦 2		本城館供養石塔が三城目に建てられる。	
1331	元 弘 1		景政寺供養石塔が三城目に建てられる。	
1334	建 武 1	6, 25	陸奥国衛が和知次郎重秀に石河庄中島郷を与える(結城文書)。	
1335		2	3, 結城親朝が石川光念と戦い河辺八幡社焼く。石川光念、白河庄成田郷伊具 鞍河入道後家跡を寄進し社殿再興させる(板橋文書)。	南北朝時代
		11, 15	建武政府が大和久村を除く白河郡内結城盛広の遺領を結城宗広に与える (結城文書)。	
1339	延 元 4		平鉢供養石塔が中畑に建てられる。	
	暦 応 2	3, 20	北島親房が結城親朝に出兵を命じる(結城文書)。	
1347	貞 和 3	9.	北島頼信が守永親王を奉じたてこもった宇津峰城(須賀川)陥落。この戦に 結城親朝から参陣(白川文書)	
	平 正 2			

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
724	神 龜 1	3, 25	陸奥国海道の蝦夷叛き大塚佐伯屋麻呂を殺す。	
728		5, 4, 11	白河軍団をおく。	
766	天平神護 2	11, 7	磐城・宮城・2郡の船穀16400石を貧民に給する。	
767	神護景雲 1	7, 19	宇多郡の吉弥侯部石麻呂に姓上毛野陸奥公を賜う。	
769		3, 13	白河郡の支部子老標葉部の支部賀例等ら10人に姓阿倍陸奥臣安積部の支部直継に阿部安積臣。信夫郡の支部大庭らに阿倍信夫臣。会津郡の支部庭虫ら2人に阿倍会津臣。磐城郡の支部山際らに於保磐城臣。白河郡の親大伴部繼人に親大伴連。行方郡の大伴部三田ら4人に大伴行方連。磐瀬郡の吉弥侯部人上に磐瀬朝臣。宇多郡の吉弥侯部文知に上毛野陸奥公。信夫郡の吉弥侯部足山守ら7人に上毛野殿山公。信夫郡の吉弥侯部広国に下毛野静戸公を賜う。	
		4, 7	行方郡の下毛野公田主ら4人に姓朝臣を賜う。	
772	宝 龜 3	7, 17	安積郡の支部継守ら13人に姓阿部安積臣を賜う。	
773		4, 9	白河郡伊波刀和氣神に封戸2をあてる。	
		10, 20	白河神に封戸2をあてる。	
774		5, 7, 20	行方郡に火災あり。穀類25400石を焼失する。	
780		11, 12, 27	征夷の功により白河・桃生など郡神11社を幣社とする。	
780	延 暦 1	5, 3	安部信夫臣東麻呂らを運頼進敵により外従5位下に叙す。	
789		8, 7, 3	このころ、征夷軍の別將支部善理・進士高田道成・会津社麻呂ら戦死する。	
791		10, 2, 5	磐城郡の支部善理に外従5位下に贈る。	
		9, 5	安積郡大領阿部安積臣継守を軍頼進敵により外従5位下に叙す。	平 安 時 代
797		16, 1, 13	白川郡の大伴部足堵らに大伴白河連。行方郡の大伴部兄人らに大伴行方連。安積郡の九子部古佐美・大田部山前らに大伴安積連。岩瀬郡の某に大伴宮城連を賜う。	
802		21, 1	坂上田村麻呂が胆沢城を築く。ついで鎮守府をここに移す。	
805		24, 11, 13	陸奥国の海道諸郡の伝馬を停廃する。	
810	弘 仁 1	5, 11	陸奥国信夫郡以南の諸郡に国司鎮官頼の運賃を給する。	
811		2, 4, 22	陸奥国海道10駅を停廃。長有・高野2駅をおく。	
		5, 23	坂上田村麻呂死去(54歳)。	
812		3, 9, 3	小倉公真弥麻呂ら17人に陸奥小倉連。柏原公広足ら13人に棕椅連を賜う。	
815		6, 3, 20	陸奥の国境より強社の馬の出入を禁止する。	
		8, 23	白川・安積・行方郡国に兵士各1000人をおく。	
824	天 長 1	7, 27	徳一死去(76歳)	
826		3, 1, 23	磐城臣藤成を外従5位下に叙す。	
828		5, 10, 19	山階寺の知興が信夫郡に菩提寺を造建し定額寺とする。	
835	承 和 2	12, 3	設置以来400年の白河・菊多間の勘過を長門国間に準ず。	
		12, 4	陸奥出羽国境より夷俘の出入を禁止する。	
836		3, 1, 25	白河八溝黄金神に封戸2をあてる。	
840		7, 3, 4	耶麻郡大領支部人麿の戸に姓上毛野陸奥公を賜う。	
		3, 12	磐城郡大領磐城臣雄公を功により借外従5位下に叙す。	
841		8, 1, 22	白河郡の都々古和氣神を従5位下に叙す。	
843		10, 9, 5	白河伊波止和氣天神。会津伊佐酒美神を従5位下に叙す。	
		11, 15	磐城郡大領磐城臣雄公を従5位下に叙す。	
		11, 16	白河郡の白姓柏造智成の戸に姓陸奥白河連を。安積郡の百姓柏造子押麻呂の戸に姓陸奥安達連を賜う。	
844		11, 1, 8	磐城郡大領磐城臣雄公の戸口に24人。磐城臣貞道の戸口10。磐城臣弟成の戸口4人磐城臣秋生の戸口3人に姓阿倍磐城臣を賜う。	
847		14, 11, 4	安達郡の宇奈巳呂別神を従5位下に叙す。	
848	嘉 祥 1	2, 22	磐瀬郡権大領支部宗成らに功により特に職田を給する。	
		5, 13	白河郡大領倉須赤竜。磐瀬郡権大領支部宗成磐城国擬少親陸奥丈部臣繼鳴權主政支部宗成。信夫郡擬主張大田部月麻呂。『素業郡擬少領陸奥標葉臣高生。伊具郡麻統郷戸主磐城国擬主張陸奥臣善福らの戸に姓阿倍陸奥臣を賜う。	
853	仁 寿 3		慈覺大師が檀信に觀音堂を建立したと伝える。(中畑)	
861	貞 観 3		陸奥国境から馬の出入を禁止する。(三代実録)	
882	元 慶 6		このころ陸奥国に7軍団あり。	
1024	万 壽 1	7, 13	陸奥国令を定む。(小右記)	
1025		2	この年間因法師が奥州に旅する。	

西 暦	時代	主 要 遺 跡	生 活	備 考
600	古 墳 時 代	鉢 内 遺 跡 (中畑) 甲 三 ツ 段 古 墳 (明新) 弘 法 山 古 墳 (三城目) 清 水 塚 古 墳 (松倉) 館ノ越横穴古墳群 (中畑) 久当山横穴古墳群 (三城目) 沼和久横穴古墳 (明新)	町は阿武隈川流域を中心として栄えたことが推測される。 (昭和47年7月16日～20日発掘調査) 住居跡があったが工事によって破壊されてしまい出土品のみが残っている。(土師器縄文第三型式) 古墳3基つくられる。 神田から奉行塚・弘法山にかけて、小円墳約30基がつくられる。 古墳が3基つくられる。 館山山腹に横穴を掘り墳墓とした。直刀と人骨3体が発見されている。 久当山山腹にある横穴古墳で、すでに開口しているもの数基を数える。 阿武隈川西岸山腹にある。	
700	奈 良 時 代	行 馬 遺 跡 (中畑) か に 沢 遺 跡 (中畑) 三 峯 森 遺 跡 (大和久) 下 荒 具 遺 跡 (中畑) 森 郭 遺 跡 (中畑) 国 神 遺 跡 (中畑)	角柱の柱穴のある住居が発見された。(第Ⅴ型式) (昭和46年3月20日発掘調査) 僧宿庵寺に使用した瓦を製造した窯跡を中心とする工人の住居など発見された。(第Ⅴ型式) (昭和48年3月1日～30日発掘調査) 大和久を流れる隈戸川を見下ろす舌地上に住居跡があった(第Ⅴ型式) (昭和45年5月7日～18日発掘調査) 白河軍団に關係のある集落で、軍団の兵の使用した下げ紙など発見され、ほか鉄を製造したたたら遺構などがあった(第Ⅵ型式) (昭和48年3月1日～30日発掘調査) 古代の「たち」と考えられるもので丘上に数基の住居跡が集落をなした要害である。(第Ⅵ型式) (昭和47年12月23日～30日発掘調査) 土製曲玉など祭祀に關係のある遺物が出土した遺跡である。その地名からも地理的な点からも中畑地域、泉川沿岸遺跡の中心的位置にあるものと考えられる遺跡である。	
800	平 安 時 代	寺 山 遺 跡 (松倉) 太 子 堂 遺 跡 (中畑)	松倉地区の泉川沿岸遺跡で製鉄遺跡である。多くの墨書銘土器が発見された(第Ⅶ型式)。(昭和45年12月15日発掘調査) 工事により、王申の墨書のある坏が発見された(第Ⅶ型式)。 この外土師器を伴う遺跡として、堰ノ上遺跡、井戸尻遺跡、狐石遺跡、笹目平遺跡、山王遺跡(大和久)、新池原遺跡(松倉)、斤沢遺跡、北田遺跡、上ノ原遺跡(柿之内)、古館遺跡、本城館遺跡、古作遺跡(三城目)、岡ノ内遺跡、城代遺跡(神田)、屋敷耕地前遺跡、乙江沢遺跡(明新)などがある。	

歴 史 年 表

西 暦	年 号	月 日	事 項	備 考
	崇 神 朝 應 神 朝		大彦命とその子武渟川命の両将軍が会津であう。 阿尺・伊久・染羽・浮田・侶夫・白河・石背・石城国造を任命。 菊田国造・岐閑国造が任命される。	
645	大 化 1		このころ道奥国をおく。	
718	養 老 2	5. 2	陸奥国の石城・標葉・行方・宇太・亘理郡・常陸国菊多郡をさいて石城国をおく。白河・石背・会津・安積・侶夫郡をさいて石背国をおく。	奈 良 時 代
719		3 月 7. 2	石城国に駅家10処をおく。	
720		4 11. 26	陸奥・石城・石背3国の調庸租を減らすことをゆるす。	

考 古 年 表

西 歴	時代	主要 遺 跡	生 活	備 考
	旧 石 器 時 代	陣ヶ岡遺跡 (三城目)	阿武隈川の氾濫原に突き出た舌状台地上にあり、硬質頁岩を縦に長く打ち欠いた石器16点が出土した。成田型石器とよばれるこれらの石器を用い、狩猟と自生植物の採集を生業としていた。	
紀元前 1 万年	縄 文 時 代	下荒具遺跡 (中畑) 松房池上遺跡 (中畑) 渡池遺跡 (中畑) 赤沢山遺跡 (大和久) 越中山遺跡 (中畑) 向原遺跡 (松倉) 北釜遺跡 (中畑) 柏山遺跡 (中畑) 赤沢遺跡 (大和久)	沖積世(紀元前1万年以降)にはいると、土器をもった新しい文化が日本列島内に普及する。いわゆる縄文文化の起源である。 縄文時代の人びとは、まだ農耕・牧畜を知らず、狩猟・漁撈と、自生植物の採集を生業としていた。 泉川の南岸の河岸段丘にあり、並行沈線文・連続突刺文や、貝殻腹線文をもつ縄文早期中ごろの土器と石器とが発見された。(昭和48年3月1日～30日発掘調査) 貝殻腹線文は、アカガイ類の海産の貝を使用したものと推定され、当時の文物の交流が知られる。 前期の土器・石器が見つかる。 前期の土器・石器が出土した。 (昭和48年3月1日～30日発掘調査) 中期の土器・石器が出土した。 後期の土器・石器が出土した。	
紀元前 100 年	弥 生 時 代	一本木遺跡 (中畑新田) 赤沢山遺跡 (大和久) 愛宕下遺跡 (中畑) カヤマ遺跡 (中畑)	紀元前3世紀の初めころから北九州地方に大陸文化の影響を受けて、弥生式文化が誕生した。稲作・機・金属を伴う文化であり、東北地方へは紀元前1世紀の初めころ伝わった。 微高地から埴形土器1点が発見された。 中期の土器が出土した。 中期の土器と管玉とが発見された。	
500	古 墳 時 代	塚原古墳 (中野目) 谷中古墳 (三城目) 鬼穴古墳 (中畑)	4世紀になると鉄器の普及、農業技術の発達を背景として、各地に豪族が誕生した。豪族たちは高塚状の墳墓を築いた。これを考古学上「古墳」と呼んでいる。東北地方では4世紀の古墳は少なく、5世紀初頭にわたって多くつくられた。 前方後円墳であり、組合石棺2基が発見された。 阿武隈川の氾濫原につくられた古墳であり、全長9.3mの横穴式石室をもち、周辺からは埴輪が発見された。(昭和44年7月16日～20日発掘調査) 阿武隈川の氾濫原を東下にしたのぞむ丘陵上にあり、全長8.8mの横穴式石室をもち、墳丘からは埴輪が発見された。古代の矢吹	

目で見る矢吹町史

頒価 一、五〇〇円

初版発行 昭和五〇年三月一日

改訂再版 昭和六三年三月一日

編集 矢吹町
(矢吹町教育委員会)

発行 福島県西白河郡矢吹町一本木一〇一

印刷 矢吹町

印刷 会津若松市門田町中野

北日本印刷

製作 歴史春秋社